

東京歯科大学同窓会会報 第366号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
お知らせ	2
会 務・ゴルフ大会	3～6
理事会のうごき	7～8
渉 外	9
保 険	10
学 術	11～12
母校だより	13
追 悼(井上 裕理事長)	14～17
支部のうごき	18～25
ふるさと自慢	26
東京歯科大学創立120周年記念事業	27
クラス会だより	27～32
すいどうばし	33
庶務日誌	34
逝去会員	35～36
追 悼	36
へんしゅうこうき	37

(表紙 野村 淳)

セピア色の写真館 ～思い出の一枚～





野球部の思い出

硬式野球部は大正14年卒業の小川東洋男先生が学生時代、授業の合間にグラブとボールを持って仲間を募ったのが始まりと伝えられています。第14代同窓会長の五十嵐堯昭先生（昭和11年卒）は豪腕投手として連戦連勝で、野球部の歴史の中でも一番強かった時代と思われます。戦争中は市川のグラウンドも芋畑となり野球もできなくなったとのことですが、戦後すぐ復活したようです。私の在籍していた昭和30年代後半は部員の数も多く厳しい練習と楽しいOBとの交流がありました。昭和40年頃重松知寛監督（昭和36年卒）を中心にグラウンドで撮ったのが（1ページ目上段）です。クラス旅行と試合が重なると旅行に行けないの



で、試合が終わってから同期の部員と富士五湖に行った時の写真が（1ページ目下段）で当時の日活青春映画のスチール写真を見ているようです。マネージャーとして先輩から引き継いだとき、運動具屋（当時はそう言っていました）に12万円の借金があり、返済するためにダンスパーティーを2回主催して完済したことも懐かしく思い出されます。

OB会は親睦と現役支援を目的に陸野善一先生（昭和7年卒）を初代

会長としてスタートしました。高橋廉平先生（昭和29年卒）に引き継がれ、現役にピッチングマシンが贈られた時の写真が（上段右）です。平成18年には創部80周年記念祝賀会が上野の精養軒で行なわれました。（下段）脈脈と受け継がれてきた野球部の伝統を堅持し、更なる発展を遂げられるよう祈念します。

（上段左は昭和48年当時の部員）

（昭和42年卒・大澤武雄 記）



叡智と努力と



副会長

柳 清 二

我が国に近代医学が導入され、目覚ましい進歩発展とともに、日進月歩の歯科教育が実施されています。

日本の人口は1997年1億2615万人、2007年1億2778万人で、出生数をみると、10年前は1年間に121万人、現在109万人です。毎日2,986人が出生し、2,992人が死亡されており、2050年には日本の総人口が9,515万人と予測されています。

2008年度の大学志望者数は543,385人で、言を歯学部に移してみると、志願者減少が止まらず、受験者の減少、即ち歯学部離れの動きが加速しています。私立大学17歯学部での平成19年度入試結果によると、募集人員1,937名、志願者10,630名、受験者9,505名、入学者1,919名で、国立大学歯学部にも志願者の減少があると言われています。

高度先端技術を有し、研究、実績等、優秀な人材を輩出している我々の東京歯科大学へ入学されている学生数は、同窓生子弟の学生205名を含め、816名が将来有望

な歯科医として、また学者として勉学に励んでいます。

東京歯科大学平成20年度入学学生の推薦入試、一般入試受験者数を検索すると、東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県から多数受験されています。

地方から東京の大学へ進学する事について、自宅からの通学等を考えたとき、同窓の先生方の子弟が近隣の歯科大学を受験する傾向にある事は、本校への受験者減少に影響していると思われます。

東京歯科大学も千葉の校舎を水道橋に移転する事が計画されています。嘗て、水道橋から千葉への校舎移転で、同窓会に於いても賛否両論があった如く、前述した日本の人口動態、私大助成、文化の中心、等々近未来を予測し、移転止む無し論の方もおります。

又、水道橋を学舎として卒業された方はノスタルジアがありましょう。千葉稲毛校舎で学問を受けた先生方には、校舎の売却にもったいない論があろうと思います。

今後、千葉校舎のメンテナンス費用や土地売却の費用はどれくらいなのか、色々な事情を心配し、問われる同窓も数多くいらっしゃると思います。同窓会本部にはプライベートな情報やプライベートレターも頂いておりますが、今後学長と大山会長との数回に渡る懇談や大学と同窓会で意見交換し、「同窓会として協力出来る事は何か」を大きな課題としてしっかり検討しなければならないと思っています。

東京歯科大学に学び育てられた歯科医として、やはり生涯学習を実施出来る大学との情報共有が必要でありましょう。

本校は黎明期より家族主義を貫いてきました。即ち、先輩を尊び後輩を慈しむ、この精神は愛であり喜びであると思います。

著者 森岡まさ子氏「森岡ママは今日も笑顔で丘の上」(講談社201ページ)に

「よろこばば、よろこびごとがよろこんで、よろこびをつれ、よろこびにくる」

という言葉があります。今、同窓会本部が大学に対する思いではないでしょうか。

大学創立120周年記念式典、並びに水道橋校舎の有効活用計画はまさに21世紀のビッグプロジェクトとして、同窓会員の叡智と情熱と弛まぬ努力、そして協力を誓い合い、その時代の諸事について検討し、道聴塗説する事無く真摯に考え、大先輩の御意見を頂き、そして若き矜持ある同窓も端緒を開いて互いに理解される様に、寢食忘れて惜しまぬ努力こそ同窓会本部に与えられた試練であり役割であると考えています。

お知らせ

理事会より

- 会員からあがった声を受けて、会則等検討委員会へ諮問していた5項目について答申が出されました。

その中には、

- 1) 会則の見直し事項として

- ① 支部への入会促進 ② 会員処分について ③ 役員選任方法の明確化
④ 評議員選任の適正化

- 2) 旅費規程の改正

の計5項目が含まれています。これらは、今年度の評議員会で協議していただく予定になっておりますが、更なる検討事項もあげられており、今後とも会員目線にたった執行を心がけていく予定です。

同窓会事業・行事

- 平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会

と き 平成20年11月22日(土)

と ころ ホテルメトロポリタン エドモンド

(千代田区飯田橋3-10-8)

- TDC 卒後研修セミナー2008プログラム

卒研フォーラム

No.7 患者さんの健康を支援する

～歯科医師のできること 歯科衛生士のできること～11月9日(日)

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部

Tel. 03-5275-1761

地域支部連合・支部関係

- 支部長交替

平成20年9月13日付

長崎県支部 田代 雄二氏(38卒)

前支部長 渡邊 修志氏(35卒)

母校関係行事・案内

平成21年度 東京歯科大学 入学試験情報

入学種別	募集人員	出願期間(必着)	試験日	合格発表日	会場
推薦(指定校含む)	約45名	11月1日(土) ～11月5日(水)	11月8日(土)	11月11日(火)	東京歯科大学千葉校舎
帰国子女・留学生	若干名				
学士編入学	若干名				
一般入試Ⅰ期	約50名	12月4日(木) ～1月27日(火)	2月2日(月)	2月5日(木)	千葉会場(東京歯科大学千葉校舎) 大阪会場(天満研修センター)
センターⅠ期	20名			2月10日(火)	
一般入試Ⅱ期	約10名	2月23日(月) ～3月11日(水)	3月14日(土)	3月17日(火)	東京歯科大学水道橋校舎
センターⅡ期	5名				

会 務

平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会 定時総会 懇親会 日程

1. 日 時 平成20年11月22日 (土)
2. 会 場 ホテル メトロポリタン エドモント
2階 悠久
東京都千代田区飯田橋3-10-8
電話番号 03-3237-1101
3. 日 程

区分	時間
評議員会	午前10時00分～午後3時00分
定時総会	午後3時10分～午後3時50分
懇親会	午後4時00分～午後6時00分

平成20年度東京歯科大学同窓会評議員会 (午前10時00分～午後3時00分)

1. 開会の辞
1. 点 呼
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長、副議長選出
1. 議事録署名人指名
1. 黙 禱
1. 報 告
 - (1) 平成20年度 会 務 報 告
 - (2) 平成20年度 会計現況報告
1. 議 事
 - 第1号議案 平成19年度 経常部収支決算
 - 第2号議案 平成19年度 特別会計収支決算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金,
名簿積立金, 退職積立金)
 - 第3号議案 平成19年度 卒後研修セミナー, 卒後研修
セミナー積立金収支決算
 - 第4号議案 平成19年度 総合政策費積立金会計収支決
算
 - 第5号議案 平成19年度 財産目録
(監 査 報 告)
 - 第6号議案 財産(備品) 廃棄処分
 - 第7号議案 平成21年度 事業計画

- 第8号議案 平成21年度 入会金(現行本学出身の会員
5,000円, 推薦会員50,000円)
- 第9号議案 平成21年度 会費(現行18,000円)
- 第10号議案 平成21年度 経常部収支予算
- 第11号議案 東京歯科大学同窓会共済規定の一部変更を
求めるの件
- 第12号議案 平成21年度 共済負担金(現行4,000円か
ら3,000円)
- 第13号議案 平成21年度 特別会計収支予算
(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金,
名簿積立金, 退職積立金)
- 第14号議案 平成21年度 卒後研修セミナー, 卒後研修
セミナー積立金収支予算
- 第15号議案 平成21年度 総合政策費積立金会計収支予
算
- 第16号議案 平成21年度 名誉会員の推薦
 1. 名誉会員表彰式
 1. 叙勲, 褒章受章者顕彰式
 1. 同窓会会長賞表彰式
 1. 閉会の辞

最寄り駅からの案内図



第114回 東京歯科大学同窓会定時総会

(午後3時10分～午後3時50分)

1. 開 会 の 辞

1. 会 長 挨 拶

1. 議長, 副議長選出

1. 議事録署名人指名

1. 報 告

(1) 平成20年度 会 務 報 告

(2) 平成20年度 評議員会報告

(3) 平成21年度 経常部, 特別会計, 卒後研修セミナー, 卒後研修セミナー積立金, 総合政策費積立金会計収支予算

1. 議 事

第1号議案 平成19年度 経常部収支決算

第2号議案 平成19年度 特別会計収支決算

(同窓会基金, 血脇記念基金, 共済基金, 名簿積立金, 退職積立金)

第3号議案 平成19年度 卒後研修セミナー, 卒後

研修セミナー積立金収支決算

第4号議案 平成19年度 総合政策費積立金会計収

支決算

第5号議案 平成19年度 財 産 目 録

(監 査 報 告)

第6号議案 財産(備品)廃棄処分

1. 協 議

1. 閉 会 の 辞

ゴルフ大会

第36回 同窓会主催全国ゴルフ大会を終えて

本年の大会は9月4日(木), 埼玉県霞ヶ関カンツリー倶楽部・西コースにて開催されました。当コースは日本を代表する名門コースで, 最近では日本オープンが開催される等, 数々のトーナメントの舞台となった有名なコースです。競技はアンダーハンドィの18ホールストロークプレーで行われ, ハンディキャップはダブルペリア方式で算定しました。当日の参加者は137名で, その内シニア(65歳以上)は43名, 女性は9名でした。

今年は例年になく日本列島をおおう大気の状態が不安定で, 暑さや突然の雷雨などの心配がありました, 大きな天候の乱れはなく, むしろプレー中はすがすがしい秋の気配さえ感じるほどでした。ただプレー終了後のパーティー時には雷雨による大雨となり, 会員各位の日頃の行いの良さを感じさせられました。

霞ヶ関カンツリー倶楽部のコンディションの良さは素晴らしく, グリーンはもとよりフェアウエーやラフの状態は完璧に整備されておりました。特にラフの深さには参加者の皆様は随分と悩まされたことでしょう。このコースでは飛距離に加え, 完璧な方向性も要求されました。

懇親会は総務委員長中野正博の司会のもと, 本年度開催地の埼玉県支部成田賢二支部長の開会のことばに始まり, 本大会をこよなく愛され本年ご逝去された井上 裕東京歯科大学前理事長への黙祷, 大会会長・大山萬夫同

窓会長ならびに大会実行委員長・酒井雄学ゴルフ大会委員長の挨拶と続きました。来賓からは学校法人東京歯科大学・熱田俊之助理事長, 東京歯科大学・金子 譲学長にご挨拶をいただきました。その後, 同窓会厚生部・野上宏一担当常任理事より大会関係の報告が行われ, 昭和18年9月卒・藤原三郎先生の乾杯の音頭で懇親会がはじまりました。

表彰式は中井英夫競技委員長の競技総評の後, 高宮紳一郎競技副委員長・三島 裕総務副委員長による成績発表と賞品授与が行われ, 同窓会長杯が一般の部優勝の原 一雄先生に, 学長杯が一般の部準優勝の山本雅通先生に, 理事長杯がシニアの部優勝の金山公彦先生, 千葉病院杯がシニアの部準優勝の中井英夫先生, 水道橋病院杯のベストグロス賞は海野 智先生が75ストロークで獲得されました。さらに女子優勝の黒澤ふさ子先生には埼玉県支部長杯が授与され, グランドシニア優勝はシニア優勝の金山公彦先生でした。その他, 一般20位までとシニア10位まで, それに飛び賞, ブービー賞などがそれぞれの受賞者に授与されました。

本大会の開催にあたり, 大学当局ならびに同窓会本部, 同窓会埼玉県支部から多大なご協力をうけ賜り, 深く御礼申し上げます。さらに大会運営にあたりまして, 霞ヶ関カンツリー倶楽部ならびに同窓会事務所の皆様のご苦勞に厚く感謝申し上げます。

来年の37回大会は9月17日(木)に開催の予定です。より盛大で意義のある大会にしたい所存でおりますので、多数の皆様のご参加をお願いいたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご活躍とご発展をお祈りいたしまして、ご報告とさせていただきます。(大会総務 中野正博)

ゴルフ大会参加の会員の皆様には、来年のゴルフ大会は9月10日開催とお伝えいたしましたが、諸事情により9月17日大利根 C.C. に変更となりました。ご予約を変更の上、来年も奮ってご参加の程お願いいたします。

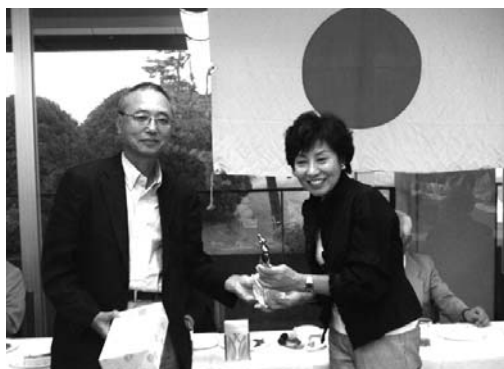
成績表

(64歳以下)

順位	名前	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優勝	原 一雄	42	39	81	9.7	71.3
準優勝	山本 雅通	39	47	86	14.6	71.4
3位	原 武仁	43	49	92	19.5	72.5
4位	坂井 清	39	38	77	3.7	73.3
5位	栃木 茂生	41	42	83	9.7	73.3
6位	園田 省平	42	40	82	8.5	73.5
7位	牧野 寛	46	41	87	13.4	73.6
8位	稲垣 博実	41	40	81	7.3	73.7
9位	松村 栄治	41	40	81	7.3	73.7
10位	海野 智	38	37	75	1.2	73.8
11位	堀 正樹	39	46	85	11.0	74.0
12位	阿武野弘信	42	48	90	15.8	74.2
13位	高橋 庸	48	46	94	19.5	74.5
14位	浅野 裕之	52	53	105	30.4	74.6
15位	黒澤ふさ子	43	44	87	12.2	74.8
16位	田邊 陽	45	53	98	23.1	74.9
17位	山崎 眞司	38	48	86	11.0	75.0
18位	中野 正博	46	50	96	20.7	75.3
19位	松本 園治	49	51	100	24.3	75.7
20位	中島 一憲	46	54	100	24.3	75.7

(65歳以上)

順位	名前	OUT	IN	グロス	ハンデ	ネット
優勝	金山 公彦	52	52	104	31.6	72.4
準優勝	中井 英夫	46	45	91	18.3	72.7
3位	中山 一六	46	48	94	20.7	73.3
4位	高梨 恒一	40	47	87	13.4	73.6
5位	松村 祐治	44	54	98	24.3	73.7
6位	腰原 好	45	47	92	18.3	73.7
7位	堺 清一	42	44	86	12.2	73.8
8位	成田 賢二	43	43	86	12.2	73.8
9位	森下昭十三	43	45	88	13.4	74.6
10位	長久保文夫	46	47	93	18.3	74.7
11位	村井 憲一	40	41	81	6.1	74.9
12位	石山 文子	53	49	102	26.8	75.2
13位	富澤 憲男	41	44	85	9.7	75.3
14位	熊澤 満夫	50	46	96	20.7	75.3
15位	鈴木 智大	45	49	94	18.3	75.7
16位	島田 英明	41	45	86	9.7	76.3
17位	原 肇	44	53	97	20.7	76.3
18位	野上 宏一	46	51	97	20.7	76.3
19位	伊藤 公	54	58	112	35.3	76.7
20位	酒井 潔	49	57	106	29.2	76.8



ゴルフ大会写真はホームページ掲載中 <http://www.tdc-alumni.jp/>

最高の一日



原 一雄 (昭和59年卒)

先日、今度、埼玉で東歯同窓会ゴルフ大会があるので、ぜひ参加して下さいと、今大会の総務委員の大谷義之君より電話があり、地元で又、井上誠一氏設計の霞ヶ関カンツリー倶楽部西コースという事もあり、参加させていただく事にしました。

同伴は、学生の時に、補綴の実習でお世話になった今回5位の栃木先生、ステディーなゴルフで17位の山崎先生、野球部の後輩で飛ばし屋の小野寺君とのラウンド。

最初から、楽しく、リラックスしながらのスタート。前半は頑張っところそここのラウンド、後半はビールを昼食時に飲み過ぎたのか今一步。それでもハンデに恵まれて、思いがけずの優勝。皆に感謝の一日となり

ました。

次回参加の時には、今回のベストグロスの海野先生とぜひ、バスクロ争いをしたいと思います。

ところで、7月に20年ぶりに突然「50歳の誕生日おめでとう」とファックスを送ってくれた大分の松江君どうもありがとう。なかなか、同級生や野球部の仲間たちとも会う機会も少なくなりましたが、ゴルフなどを通じて再会できる事を楽しみにしています。

最後になりましたが、素晴らしいコースで最高の一日を送る事が出来た事を関係者の皆様に感謝致します。

Gross104でも ダブル優勝



金山 公彦 (昭和37年卒)

前回 (34回) の霞ヶ関もその年の最悪のグロス95、今回も104で今年の最低のスコア。久しぶりの歩きのゴフルで気持ち良い体の疲労感を感じて、スコアよりゴルフが出来る幸せを感謝してビールで乾杯していました。まさかシニア、グランドシニアのダブル優勝などまったくの想定外の出来事でした。

強運は、隠しホール12の内、ロングは2ホールとも10打、トリプル1、ダブルボギー4、ボギー5の内容で、26打オーバー。隠しホールから外れた6ホールは、ダブルボギー2、ボギー2、パー2で、6打オーバーとなり、ダブルペリア様様の幸運な優勝でした。

これはグロス3桁のスコアでも優勝のチャンスがある証拠です。50を切れないシニアの皆様にも優勝のチャンスは十分にありますので次回も大勢参加して頂きたいと思っています。

午前中は暑く汗びっしょり、上服

が肌にくっついてスイングの邪魔になる程で、今年もカートでのプレーに慣れている体に飛距離、運動神経、視力、勘など全て低下している古希を過ぎたグランドシニアには厳しい気候でした。気候の良いベストシーズン開催には毎回名門コースなのでコースよりOKが出ないと思いますが、そろそろ開催日の変更も考えて頂きたいと思いました。

昨年、同窓会理事会で監事としてゴルフ大会の開催の可否を協議する場に立会いましたが、諸般の事情で中止となり企画して頂いた先生方や参加希望の先生方には申し訳ありませんでした。

他校の同窓会にはないこのゴルフ大会が益々充実して先輩後輩の情報交換等の橋渡しとなり、母校の発展に貢献出来ることを確信しています。

今回も開催にご尽力頂いた大会関係者に感謝とお礼を申し上げます。

理事会のうごき

第4回理事会

平成20年7月12日（土）午後2時30分～午後6時20分

於 特別会議室

出席 28名

議長 江崎副会長

会長挨拶

井上先生が急逝されたことで、いろいろ問題が残されていることと、評議員会を控え種々の議題があるので十分審議していただきたい旨挨拶。

黙 禱

平成20年6月5日から平成20年7月11日までに連絡があった16名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

会務報告および承認

- 1) 平成20年6月13日から平成20年12月までの日程を報告。
- 2) 古川社会保険労務士が作成した労働契約書を、職員の新規採用時に取り交わすこととした旨を報告。
- 3) 4月から契約していた派遣社員より、5月31日付で終了したい申し出があり、その補充として事務職員1名を6月1日付で採用（3ヵ月の使用期間あり）する旨報告。
- 4) 東京歯科大学臨床教授・黒須 誠先生より依頼があり、3病院別々に指導を行う保険指導員を推薦した旨報告。
- 5) 委員として6名の委員を委嘱し、執行部からは片倉副会長、中島総務担当常任理事2名、計8名で会則等検討委員会が発足した旨報告。
- 6) 第55回全国歯科大学同窓・校友会懇話会が10月18日（土）に札幌市で開催予定。大山会長、柳副会長、宮地常任理事3名が出席する旨報告。
- 7) 金子学長、大山会長、関専務が出席し大学創立120周年記念事業についての座談会が開催された。内容については、会報8月号に掲載予定である旨報告。
- 8) 本年度から職員の新規採用時には、労働基準法に則った形で契約することとし、そのため古川社会保険労務士と月額2万円にて委託契約をした。ただし、規約変更等する場合は別途の契約となる旨報告。

9) 前期よりの継続協議事項である学年代表者会議（仮称）について、学年代表者4名と会長、専務、総務とで8月1日に懇談を行う旨報告。

10) 各部報告

- (1) 総務部：①支部・地域支部連合会等学術講演会講師交通費の支出について3件報告。②岩手・宮城内陸地震の被災状況を報告。
- (2) 会計部：1月～4月までの予算執行の現況を報告。
- (3) 渉外部：第2回委員会で歯科医師会役職者名簿を来年4月に各支部長に配送できる様作成することを決定した旨報告。
- (4) 学術部：①委員会および2008年度卒後研修セミナーについて説明、報告。②28校学術連絡会が7月26日・27日の両日松本歯科大学で開催、参加者を報告。③2009年度卒後研修プログラム概要について説明。
- (5) 広報部：故井上理事長の追悼記事について委員会で協議した結果、同窓会報8月号に井上家の葬儀と合同葬の一部を掲載し、10月号には弔辞を含む合同葬の詳細を掲載する旨報告。
- (6) 厚生部：①平成20年度逝去会員は7月11日現在で累計82名、規程により弔慰共済金を支給した旨報告。②第36回ゴルフ大会の申し込み状況等報告。
- (7) 保険部：①第5回保険部委員会を開催し小冊子の内容について検討した。②9月2日全国社会保険指導者研修会が開催予定、その後同窓参加者を対象として懇談会、懇親会を行う予定である旨報告。
- (8) 情報部：ウェブサイト編集・アップデート契約書について、6月1日に遡り契約した。なお、期間は平成21年12月31日までとした旨報告。

各地域選出理事報告

- 1) 岩沼理事（東北）東北地域支部連合総会を6月21日に開催した旨報告。来年の総会日程を案内。
- 2) 井原理事（関東）関東地域支部連合会を9月6日に開催予定である旨報告。
- 3) 高橋理事（東京）4月に贈収賄事件に関する総括を出した後、東京地域支部連合会会報に掲載したが、その後特に大きな反応はなかった。支部長会の際にもご意見を伺えると思う。また、昨年一部滞りぎみだった委員会活動も全開し、本年は順調に進んでいる旨報告。

本理事会においても何度かお願いしてきたが、前回

支部長会で「同窓会費を支部を通さず本部に直送する会員が多いので何とかして欲しい。」との申し入れがあり、未だ本部より回答ももらっていないので、具体的に直送者の割合が減少するように積極的に考えて欲しい旨発言。

- 4) 片桐理事(信越) 信越地域支部連合会総会を6月21日に新潟市において開催した旨報告。
- 5) 伊藤理事(東海) 東海地域支部連合会総会を9月7日に浜松市において開催予定である旨報告。
- 6) 宮本理事(北陸) 富山県における奥田克爾名誉教授の講演は、他大学の卒業生も集まって盛会裏に終わった旨報告。また共済金について理事会でのやり取りを地元で報告した結果を報告。
水道橋移転問題の金子学長の説明を地元に戻ってそのまま伝えつもりだったが、受け売りの説明では、多くの会員の疑念を解くにいたっていない。情報から隔絶された不満が鬱積していると思われる。速やかに状況をつまびらかにして、くすぶり続けている不満を解消していただきたい旨発言。
- 7) 小室理事(近畿) 近畿地域支部連合会総会を11月23日に開催予定である旨報告。
- 8) 安田理事(中国) 鳥取県支部総会を7月26日に開催予定である旨報告。
- 9) 久保田理事(四国) 5月10日に四国地域連合同窓会出席のため本理事会を欠席したことで、金子学長から大学を取り巻く環境をいろいろな角度から解説され、将来ビジョンを熱く語られたが、時間が切迫して大学移転の問題・構想について十分に話をさせていただかず、会員はもう少し詳しく聞きたかったと残念がっていたこと、また今後同窓の十分な理解、支援を得るためには、根気強い繰り返しの説得が必要と考える旨報告。
- 10) 濱田理事(九州) 九州各県支部長会を6月21日に福岡で開催した。当日集中豪雨のため1名が欠席、2名が遅刻、九州地域支部連合会総会を10月18日に開催予定であることを報告。また九州全体ネットワーク構築(案)を提案し、可決された旨報告。
- 11) 大学報告
 - ① 同窓会本部が使用している事務室の使用料について、金子学長と大山会長が打合せをした結果、来年

1月から月額30万円とすることで合意した。

- ② 創立120周年記念事業として大学の移転計画に伴い、TDCビルの改修工事が行われることとなるので、同窓会本部が使用している事務室の移転を考慮していただきたい旨説明。

協議事項

- 1) 同窓会会費および共済負担金納入免除願いについて1件承認。
- 2) 厚生部委員会で作成した東京歯科大学同窓会共済制度の改定案について説明、協議の結果了承。
評議員会に提案できるように次回協議する。
- 3) 大学創立120周年記念事業に関する現状とその対応策について、本部同窓会は大学創立120周年記念事業については全面的な協力体制で臨むことを報告。記念事業にかかわる役務分掌等、協議の結果、了承。
- 4) 平成20年度評議員会の運営については大学創立120周年記念事業、水道橋移転に対する寄付金、不祥事に係わる一連の事件についての処分など難しい議題があるため、事前準備を周到に行う必要がある。よって、執行部としての考えを十分検討し、その対応をしていきたい旨説明。了承。
- 5) 平成21年度事業計画、事業予算について資料に基づき説明。了承。
- 6) 前役員への記念品贈呈について説明。協議の結果了承。
- 7) 7月31日に予定されている、故 井上 裕理事長の合同葬に際し、本部同窓会より各地域支部連合会、各支部に生花を依頼したい旨説明。
- 8) 会長より、会則等検討委員会諮問内容について説明。また、会則以外の規程等の変更もこの会で検討をするため、名称を会則等検討委員会にしたことを説明。答申期限は、8月末日までとする旨報告。了承。
- 9) 次期参院選における職域代表候補として、同窓2名が立候補。本部同窓会としては、2名を応援していくことで、一同了承。
- 10) 東歯関係日歯役員・代議員、都道府県会長と同窓会役員との懇談会を、本年は代議員会1日目の夜(9月11日)に行うことを検討し、決定した。

東歯関係日歯役員・代議員，都道府県歯会長と 同窓会役員との懇談会

恒例の懇談会が日歯代議員会1日目の9月11日(木)に、飯田橋の「ホテルメトロポリタン エドモント」3F「薫風の間」にて午後7時より開催されました。当初の予定では6時半開会でしたが、代議員会が予想以上に長引いたため、かなり遅れての開会となりました。

出席者は日歯役員4名、日歯代議員14名(3名の県歯会長を含む)と同窓会役員15名で、それに加えて熱田新理事長、金子学長もご列席くださいました。

関 泰忠専務理事(昭42年卒)の司会進行で江崎梅太郎副会長(昭30年卒)の開会の辞、大山萬夫会長(昭25年卒)の挨拶があり、そのあとに熱田俊之助新理事長(昭24年卒)から就任のご挨拶、金子 譲学長(昭39年卒)から大学の報告を兼ねてのご挨拶と続きました。

懇談会は座長に東京都選出の渋谷国男代議員(昭43年卒)を選出し、まず中島信也総務部担当常任理事(昭59年卒)が同窓会の現況につ

いて報告を行い、さらに11月の評議員会についても説明がありました。続いて第161回日歯代議員会の個人事前質問について協議いたしました。神奈川県選出の加藤木 健代議員(昭46年卒)の「指導大綱による集団的個別指導(高点数個別)に対する見直しについて」千葉県選出の浅野薫之代議員(昭40年卒)の「審査に関する支部間差別解消のための歯科検討委員会について」の2題について、質問の要旨について各々出題者からの説明があり、それに関する事項を含めて質疑応答、意見交換が行われました。また当日、日歯年金・日歯共済の資金使用について質問された青森県選出高畑研佑代議員(昭46年卒)から、その内容について詳しいお話がありました。大変参考になりました。最後に服部玄門副会長(昭33年卒)が懇談会の閉会の辞を述べられました。

懇談会終了後、「波光の間」にて懇親会が行われ、木俣 茂渉外部担当常任理事(昭51年卒)の司会の

下、柳 清二副会長(昭38年卒)の開会の辞、川越文雄群馬県歯会長(昭31年卒)の乾杯があり、和気藹々に懇親を深めました。またご子息が本学出身で、大分県歯会長で推薦会員の丸尾道彦先生も参加され、ご挨拶をされました。宴たけなわの中、大久保日歯会長がご多忙の中駆けつけて下さり、さらに盛会となりました。東歯同窓会の日歯への協力に対しての感謝のお言葉の後に、「先般メディア各社との懇談会があり、歯科界の窮状をお話しするのではなく、歯科医療の有用性、必要性を主にお話しました。歯科が厳しいことは言うまでもなく承知されていることで、そのようなことを訴えてもかえってマイナスであり、歯科医療が国民の健康にいかにか寄与しているかを説明し、好感をもたれた。」とのお話があり、共感を持ちました。

最後に片倉恵男副会長(昭39年卒)が閉会の言葉を述べ、午後9時過ぎにお開きとなりました。

※訂正とお詫び

8月号「学校法人東京歯科大学理事長 井上 裕先生 ご逝去」の記事におきまして、「大本山成田山新勝寺貫主」とあるのは「大本山成田山新勝寺貫首」の間違いです。訂正の上、お詫び申し上げます。

保 険

社会保険指導者研修会出席者情報交換会の開催

平成20年度社会保険指導者研修会が9月2日（火）10時30分より日本教育会館「一ツ橋ホール」に於いて開催された。この研修会には各都道府県で保険関係の指導的立場の先生方が参加している。

研修会終了後、全国の同窓の集まる指導者懇談会が17時より如水会館にて65名の出席のもと、金子 譲東京歯科大学学長を招き開催された。前田 修保険部担当常任理事の司会の下、服部玄門副会長の開会の辞に始まり、大山萬夫会長の挨拶の後、ご来賓として金子 譲学長および江里口 彰日本歯科医師会学術担当常務理事のご挨拶を賜った。その後、保険部委員会委員長の中川杉生座長の下「平成20年度診療報酬改定の主旨」と題し日本歯科医師会前診

療報酬対策チームの森岡俊介先生のご講演があり、20年度の改定結果を日常診療の中で有効活用すべきということ、今年度の歯科医療費が次回改定の基礎となるため歯科業界が一つになり、特に新設項目は他の項目を削減して確保した枠なので積極的に算定するように呼びかけた。

続いてコメンテーターとして早速晴邦・中島信也両先生が登壇し「歯管」をテーマに情報交換を行った。各支部での取り扱いの状況や「義管」との併算について活発な議論が行われた。また会場から「外来環」や「在口管」の施設基準となる講習会を同窓会でも開催出来ないかという鈴木先生（岩手）からの忌憚のない意見もあり有意義であった。最後に関 泰忠専務理事の講演者への御

礼及び閉会の辞で終了した。

続いて石原 忍保険部委員会委員の司会の下、懇親会が開催された。中島信也総務部担当常任理事の開会に始まり、金子 譲学長のご挨拶では本校の水道橋への移転に関してはわが国の人口構成や時代背景を熟慮し東京歯科大学の発展のためであると執行部の見解を示した。次に竹内忠彦先生（長野）の乾杯の発声により懇親会が始まり終始和やかな雰囲気の中、各々旧交を温めたり、地域の状況等を話し合い様々な交流が行われた。名残を惜しみつつ、早速晴邦保険部委員会委員の閉会により会は終了した。

（保険部委員 金子久章）



卒研レポート2008

新素材，歯冠修復の新たな潮流 ～メタルフリー修復の実際とその基本手技～

近年，ハイブリッドセラミックス，ファイバーコア，オールセラミックス，ジルコニア，など新たな歯冠修復材料が開発され，次々と臨床応用されています。その背景には接着剤の進化があり，各種材料の応用を可能にしたと言えるでしょう。はじめに佐藤 亨教授より補綴領域での接着についてとメタルフリーの補綴治療，オールセラミッククラウン，セラミックインレーの支台歯形成，接着を応用したオールセラミッククラウンの装着法，ファイバーポストを用いた支台築造法について実際の診療テクニックについて，また「シェードコミュニケーション」という演題で中澤 章先生による講演がありました。

1. オールセラミックスの種類によって適合したセラミックプライマーと接着剤を使用する。

重合形式はデュアルキュアか化学重合タイプ，歯面処理，セラミック処理，金属処理は各社システムに従う。

その他の特徴として色数のちがいが，フッ素徐放性，X線造影性，エナメル質接着性，象牙質接着性，陶材接着性，ジルコニア接着性，ハイブリッドセラミックス接着性等を考慮して選択する。

実習ではレジセムとクリアフィル SA ルーティングを使用した。装着時の注意は一カ所につき2秒間光照射後半硬化した余剰セメントを除去する。

2. 支台歯形成の留意点

SHOFU の AllCeramicPreparation Kit を使用した。#102R のバーで隣接面から歯肉縁下に深く入らないように，唇面に#122を使用する場合隣接面の削去量が多くなるためガイドグループを隅角部に入れないように注意する。唇面と舌側は#106RD で形成する。

クリアランスは前歯1.5mm，臼歯では2mm 程度確保してマージン形態は1.2mm 程度のヘビーシャンファーとする。

セラミックスの応力集中による破折を防止するために面取りをする。#106RD でマージン部の遊離エナメルの修正をする。

3. レジンコアとファイバーポスト

メタルフリーではレジンコアはより天然歯と調和させるために有効です。

上顎前歯部の場合ファイバーポストの方向は少し舌側よりに帯環効果のため歯頸部1～2mm の高さの歯質を保存する。

ポスト孔の太さとファイバーの太さをなるべく一致させ，レジン部分を少なく根尖から2～3mm 以上はなす。

4. シェイドテイキング

シェイドは光源，見る方向，大きさ，背景，観察者に影響される。一般的な診療室でのシェードの正解率は60%で向上させるためには時



間をかけない，歯面を乾燥させない，色覚細胞は疲労するため初めに選んだものほど正解率が高い，高演色性の蛍光ランプで Ra (平均演色評価数) が100に近いものを使用するか北向きの自然光でシェードを選択する。背景はグレーにすると良い。

パソコンが扱える人は迷った数本のシェードガイドを番号がわかるように写しこんだデジタル画像を画像編集ソフト上で歯牙の一部をコピーしてシェードの同じ部位にペーストするとマッチしているか判断しやすい。

技工所と同じシェードガイドを使用する。

以上を実施すると正解率が95%程度まで上がるそうです。

内容豊富な講演と実習でセミナーもあっという間に終了となりました。スタッフの皆さんご苦労様でした。実習や日頃臨床の疑問に対して懇切丁寧な対応をしている様子を見て，このセミナーの有意義さを改めて実感しました。

(取材 広報部 白田 準)

卒研レポート2008

導入しよう！インプラント治療

2008年9月6日(土)、7(日)の2日間にわたるNo.5「導入しよう！インプラント治療」取材してきました。近年インプラント治療は社会的認知度も高まり、希望をされる患者さんも増えてきているかと思えます。企画主旨にはインプラント治療を覚えて導入したい人、またメーカーの研修を受けたが臨床应用到踏み切れない人を対象としているとありました。インプラント治療初心者に必要な最低限な設備の具体例の解説、診断と術式の基本をきっちり学べるようになっています。

実習はCT・パノラマエックス線写真のトレース・フィクスチャー選択基準・サージカルステントを用いてインプラントの基本的埋入法と補綴の術式、印象採得を学べるようです。

1日目午前の講義では口腔健康臨床科学講座の関根准教授により「インプラント治療の臨床」を、続いて解剖学講座の阿部准教授による「インプラント治療における解剖学的知識」と題してご講演がありました。

午後からはレントゲントレース実習や、千代田区でご開業の藤岡先生による「インプラントケースの実際」と題したご講演、顎模型埋入・印象採得実習と午後6時まで中身の濃い実習が続き初日を終了しまし

た。

2日目は口腔インプラント学研究室の矢島主任教授による「インプラントのための外科基本手技」と題して成功させるための根拠に基づいたインプラント治療を判りやすく丁寧にご講演されました。休憩を挟んで矢島教授自らオペの前準備としてオペ着やグローブの着用の仕方・ドレープの注意などデモをしていただき受講生がペアを組んでオペ着とグローブ着用実習を体験しました。



続いてブタ顎骨による切開、縫合をじっくり時間をかけて学んだ後マネキンによる実際の臨床に即した形式で埋入実習へと移りました。



昨年までブタ顎骨や顎模型による縫合や埋入のみでしたが、今年からはより実践的なプログラムになり写真のようなマネキンに顎模型を付けて自分がオペをしているような形態の実習に変わったそうです。皆さんタービンによる形成は慣れてはいる



ものの、口腔内を想定したマネキン模型は歯肉剥離、ドリリングともに難しく、斜めに埋入したり小さなドライバーやカバースクリューをマネキンに飲み込ませてしまう受講生もいたり緊張した顔付きで大汗をかきながら取り組んでいました。

2日間の取材を終えて感じたことは、企画・実習指導の学術部委員がインプラント治療を日常臨床に多く取り入れているため、非常にきめ細かく初心者の身になって企画された内容になっていると思いました。

インプラント治療は患者さんの期待も大きくかつリスクも伴いますが、このセミナーを習得してメリット、デメリットをきちんと説明し、補綴治療の一つのオプションとして自信を持って患者さんに提示できればと思います。

(取材・広報部 福井雅之)



母校だより

理事長就任挨拶

熱田 俊之助



同窓会会員の皆様には、日頃より母校東京歯科大学発展のためにご尽力賜り、心から感謝申し上げます。就任のご挨拶の前に、去る6月22日にご逝去されました、故井上裕前理事長のご冥福をお祈り申し上げますとともに、長年に渡るご功績に対しまして深甚なる敬意を捧げたいと思います。

この度、井上裕前理事長の後を受けて、去る8月28日に開催された理事会においてご選任を賜り、同日付で学校法人東京歯科大学の第6代目の理事長に就任いたしました。

初代理事長の血脇守之助先生からはじまり、奥村鶴吉先生、石河幹武先生、鹿島俊雄先生、井上 裕先生と引き継がれ私が6代目となります。錚々たる先生方が継承してこ

れた、歴史と伝統を次世代に引き継ぎ更に発展して行かなければなりません。

本学は、110有余年の伝統を誇る本邦最古の歯科医学教育機関として、日本の歯科界をリードし、発展に寄与してまいりました。

2年後の平成22年、本学は創立120周年という節目の年を迎えます。この節目に、理事長職を拝命したことは、大きな喜びであり、大きな責任であることを痛感いたしております。

幸い本法人には、豊富な経験と学識英知を有する役員の皆様と優秀な教授陣と職員が多く控えております。全学を挙げてご協力を頂き、諸問題解決のために日々精進してまいり所存であります。同窓会会員の皆様にも更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

今後、創立120周年記念の各事業が推進されていくこととなりますが、私自身先頭に立ち粉骨砕身の覚悟で取り組んでまいります。

皆様もご承知のように、歯科大学においては、歯科医師需給問題から、平成18年8月に文部科学大臣・厚生労働両大臣により、歯学部定員の更に一層の削減の要請、歯科医師国家試験の合格基準引き上げが取り

交わされ、国の政策として明確化されました。

この様な状況の下、本法人が更なる発展をするため、故井上裕前理事長の路線を継承していくことが重要であると考えます。私自身、昭和24年東京歯科大学専門学校を卒業し、昭和63年4月から本法人評議員、平成5年10月からは理事として学校法人の経営に携わり、井上先生と共に歩んで参りました。

私の任期中は、血脇守之助先生の「歯科医師たる前に人間たれ」という建学の精神の堅持、創立120周年記念事業の推進、全学を挙げ財政基盤の確立、維持を基本方針として鋭意努力してまいります。井上先生が提唱されておりました大学の社会的責任についての取り組み、法人運営の透明性の充実、大学情報の開示と説明責任についても重要な事柄であると考えております。また、現在検討が進められている水道橋キャンパスへの移転計画も、基本方針を前提とした上で、議論を重ねてまいり所存であります。

同窓会会員各位の強力な結束が、大きな推進力となることは言うまでもありません。重ね重ねのお願いとなりますが、私の就任の挨拶とさせていただきます。

あつ 熱 田 俊之助

大正15年3月26日生

学 歴

昭和24年3月 東京歯科大学専門学校卒業
昭和36年3月 順天堂医科大学より医学博士の学位授与

職 歴

昭和24年4月 東京女子医科大口腔外科(25年3月まで)
昭和27年3月 熱田歯科医院開設

歯科医師会並びに学会等

昭和41年12月 保護司(平成16年12月迄)
昭和47年1月 東京歯科大学同窓会常任理事(56年3月まで)
昭和63年4月 学校法人東京歯科大学評議員(～現在)
平成5年10月 学校法人東京歯科大学理事(～現在)
平成20年8月 学校法人東京歯科大学理事長(～現在)

賞 罰

平成4年9月 法務大臣賞受賞
平成12年4月 勲五等雙光旭日章受章
平成12年11月 文部大臣賞受賞

追 悼

井上 裕 本学理事長逝く



井上 裕 先生 ご略歴

昭和24年3月 東京歯科医学専門学校卒業
昭和36年3月 東邦医科大学より医学博士号授与
昭和38年4月 千葉県議会議員当選（連続3期）
昭和51年12月 衆議院議員当選（昭和54年10月）
昭和55年6月 参議院議員当選（平成14年5月まで）
昭和58年12月 大蔵政務次官
昭和62年6月 学校法人東京歯科大学監事
平成2年4月 学校法人東京歯科大学評議員
平成2年6月 学校法人東京歯科大学理事
平成2年12月 文部大臣（平成3年11月）
平成3年1月 学校法人東京歯科大学理事・評議員辞任
平成3年12月 学校法人東京歯科大学理事・評議員
平成5年10月 学校法人東京歯科大学理事長
平成7年8月 参議院予算委員長（平成8年6月）
平成9年9月 成田山奉賛会会長
平成12年10月 参議院議長（平成14年4月まで）
平成12年11月 勲一等旭日大綬章受章
平成20年6月 従二位桐花大綬章受章

自由民主党・東京歯科大学・井上家合同葬の当日の様子は前号を御覧下さい。

同級生の追悼文がすいどうばし欄に掲載されています。

弔 辞

東京歯科大学を代表して先生のご霊前に謹んで弔辞を捧げます。

先生に法人主事を申し付けられて以来、この9年間は特に身近に先生の薫陶を受けてまいりました。公私に互ってまことに得がたい体験であり、貴重な教えを授けていただきました。

先生は、戦時中に東京歯科医学専門学校へ入学、そして戦後の無歯科医村での診療と開業という10数年の歯科医療活動の後、千葉県議会議員を皮切りに、国政に参画し数々の重責を務められ、参議院議長として政治家としての幕を閉じられました。先生のこれまでの国家社会への貢献は、天皇陛下から賜った従二位、桐花大綬章ご受章に示される所であります。

マキュアベリは「君主論」の中で言っています。「人の上に立つ者は、人間的な性質と野獣の性質を、ともに学ぶ必要がある」ということで、エネルギーがたっぷりした体型からも、先生はかなり野獣的な性格の勝ったお人柄ではなかろうかと私はかつて想像しておりました。しかし、先生と直接お話する時間が増えるに連れ、先生は冷酷さや姦策を弄する野獣の性格ではなく、懐が深い、寛容の精神に富んだ誠実な方だと短期間のうちに分かってまいりました。潔く徳が深いお人柄であることは、先生のご戒名によく表されております。

文部科学行政、厚生労働行政は私どもの大学にとりまして厳しさが増しております。しかし一方では、高等教育行政では「競争と連携」というテーマの中で目標を持ち達成度が評価されやすい土壌となっています。さらに進む少子

東京歯科大学理事長井上裕先生のご逝去にあたり、謹んでありし日の先生を偲び一言お別れのことばをさし上げます。

年初より体調を崩されておられた先生は、本年の大学入学式には体調不良で熱田常任理事が理事長代行で祝辞をのべられました。「大分お具合が悪いかな」と心配致しておりましたが、5月の役員会には酸素吸入を持参され理事会を開催、議長をお務めになられました。私共もやや安心致しておりましたその直後の、まさかのご逝去でした。

平成20年6月22日、井上先生の急逝の報に接し、一瞬体が硬直し、言葉もございませんでした。何と申しましても痛哭の極みでございます。

来る平成22年5月には、大学創立120周年記念式典及び水道橋校舎移転の計画が控えております。井上先生がご存命中、稲毛より水道橋へと大英断を下されました。その裏付けには先生の参議院議員・文部大臣・参議院議長として、議員通算25年余に亘る経緯の中で築かれた素晴らしい人脈による、的確なる情報を基にしたの、今後大学の生き残りにかけたご決断であったと理解しております。井上先生ご自身病床にてさぞや心中無念な思いであった事と存じ、心よりご冥福をお祈り申すばかりであります。

ありし日の井上先生は、人間的な魅力にあふれ、実行力・洞察力に優れ、永年の議員活動の中で培われた周囲の方々に対する細かい・温かい配慮、懐の深さ、人間味豊かな方でした。この事は、私が井上裕後援会会長、近年では法人監事としてのお役目を通しての実感でございます。常々不世出の方と畏敬の念を持っておりました。

井上先生の亡き後、伝統有る我が大学に対する先生のご遺志を尊重致してまいらねばと、心に銘じております。

故井上裕先生を偲び、ご生前に賜りました数々のご指導・ご厚誼に感謝申し上げます。先生の霊の安らかなることを謹んでお祈り致します。

合 掌

故 井上 裕先生を偲ぶ

会長 大山 萬夫

化の中で東京歯科大学の発展は有為な人材の確保と育成を根底に置かなければならず、先生が2年後に迎える創立120周年を節目に大学を水道橋に戻す決断をされました。この計画がこれからというときの先生の旅立ちに、私は改めて先生の存在の大きかったことに思い至っております。

長い暦を刻んできた東京歯科大学でありますので、歯科界には多数の人物が貢献しております。しかし、専門の枠を遥かに超え、人間の営みを決める政治家として生涯を捧げ、これほど輝かしい成功を得られた卒業生は他におらず、さらに政界引退後は母校に帰られて、常勤の大学理事長として舵取りをしてくださいました。大学は、今先生がいらっしゃらなくなったことを悲しむのではなく、先生が大学に傾注してくださった志を継ぎ、東京歯科大学建学の精神が井上 裕という大人物を輩出したのだと誇りをもって前に進みたいと思います。

公的には的確なご指導、私的には温情あるご支援を沢山いただき誠にありがとうございました。安らかに眠りください。

合 掌

葬儀副委員長
東京歯科大学学長 金子 譲

弔辞

従二位 桐花大綬章 元参議院議長
東京歯科大学理事長 故井上 裕
先生の墓前に謹んでお別れを言ま
し上げます

井上先生の突然のご逝去に驚きと深い
悲しみの中でお別れの時が参りまし
た 政界を引退された後もお元気で東京
歯科大学理事長として大学の経営
また 歯学界の問題に精力的に取り
組まれるなど各方面で活躍しておられ
また 自身 折檻をお目にかけ
おりましただけに 突然の訃報は押し
可な疑い 信じられませんでした

生者必滅の世の理には見えぬものな
お別れの場に臨み改めて世々無常を
嘆くばかりであります
井上先生 今日はこの青山葬儀所にお
いて 福田総理はじめ自民党関係
者 東京歯科大学の皆様 そんな
先が最も大事にやられた千葉
県民皆々とお送り申し上げます

ここに参りました
昭和十年十一月 千葉県成田市にお見え
になられた先生は 昭和十五年四月 旧制
成田中学校に入学されました 当時の
世界は大変な混乱期にあり 翌年
十一月は日米開戦日と連うことは出来
どころではなくなり まさに労働奉仕
明け暮れを毎日たたくております

しみ どのような厳しい環境にあっても
先生 勉学を怠らなく 現東京歯科
大学の前身である東京歯科医学専門
学校に進学され 卒業翌年の昭和
十五年には 郷里の印旛郡印旛村で
井上歯科医院を開業されました
治療の腕が長いというだけでなく
患者さんへの就職のお世話までされる
面倒見のよい 歯科医師として 日に日に
評判はあがり 開業後 数子分院
を設けるなど 誰もが歯科医師として
大成を喝望して参りましたが 先生は
長年 心の中で密に温められた政治
への志を断ち切られ 千葉県議会議員
選挙に出馬されました 昭和二十年の
初当選から 連続三期を経て 昭和二十二年
に参議院総選挙で 千葉県第二区で
見事 初当選 その後 昭和二十五年
には参議院に転じ 実に通算二十二年
永きにわたって 国政に参画され 活躍
されました

多岐にわたるその政治活動は 益々進
歩する暇があまりなれたが 本蔵省政務
次官 参議院大蔵委員長と歴任され
たり 平成二十年十月には 第二次
海部改造内閣の文部大臣に就任
その後 参議院予算委員長 光
参議院議員会長などの要職を経て
平成二十一年には 第三十代参議院議長
に就任され 二期にわたってその職責を
果たされました

先生が参議院議員会長に就任された
のは 平成二十年七月 参議院議員選挙
選挙の結果 わが党の議席が参議院
において半数を下回ったというこ
選挙直後に召集された臨時国会
では 与野党勢力が逆転しているが
金融安定化関連法などの重要法案
を抱え 与野党協議が連日深夜々
木明に及ぶほどの難しい国会運営と
強いられました その時 幾多困難
を乗り越え 参議院の良識を守りし
とて 陣頭指揮をとって参られたのが
井上先生でした 当時 私は 党の
幹事長として 共に難し 国会運営
に心砕いておりました 後年の
参議院議長就任は 少数の自民党
をまとめる苦勞された当然 帰結
あなたと申します 今更なまうに その
強い信念に満ちた 逞しい風貌が 偲
ばれるのであります

先生が参議院本会議会で見ざる 嘗て
なるお姿は 本心に 議長席によく
お似合っていました 後には 総理大臣
拝命 私の座席から見ざる先生 横顔
に どれだけ 励まされたか 知れませ
井上先生 先生と私 未だ方を振り
返して 本心に 不忠誠を謀って
結ばれていきたいと思います
共に現総理 福田康夫氏を 尊父
福田勉夫先生の下に 師事し 先生
参議院で 私を 衆議院で 苦勞と表

いすました また 教育問題でも 協力
し合いました 共に 文部大臣や 大蔵
委員長の 経験者であり とうとう だけ
なく 平成二十年 秋二度目に 幹事長
をお引受けした時は 先生が 参議院
議員会長 後には 内閣総理大臣
を拝命 そのご中間もなく 先生は
参議院議長に就任されました
党務 政務を問わず 私に 何かの
重責を背負っていると 時には 少く
近々 私を支え また 時には 少く
離れたい 陰に 陽に 最後と
送って下さりました
先生は 私に 絶えず そのような 絶え
難きを 保った 軌道の上を 互いに 生き
てきた 貴方の 思いと 言葉 改めて
 咄みしめて います
井上先生 先生が 党での 経歴
ご功績が けいご 度々 華儀を 東京
歯科大学の 協力を 得て 党華をも
お送り申し上げます ことになりました
が 先生の 遺言で 華儀委員長を
私に 指名いただきました 僥倖を
顧みず その 任務の ささぐり いた
ました
あれを 思い これを 思うに けいご 残は
要に 尽す 今日のお別れが 惜しまれ
残念で ありません
しかし それも かなわぬ 私を 後
この 悲しみを 乗り越え 国を 発展
東京歯科大学の 未来に向けて 疾く

全弔辞・弔詞

葬儀委員長
元内閣総理大臣

森 喜朗

内閣総理大臣

福田 康夫

衆議院議長

河野 洋平

参議院議長

江田 五月

葬儀副委員長
東京歯科大学学長

金子 讓

弔辞・弔詞全文は
ホームページ上に掲載致しました

弔辞

本日ここに従二位 桐花大政章

元参議院議長 東京歯科大学

理事長 故井上 裕 先生の御尊儀

が執り行われるにあたり 謹んで

御霊前に追悼の辞を捧げます

私が初めて衆議院に議席を得た

平成二年 先生は既に党副幹

事長の要職にあり その年の

うちに文部大臣に就任されました

大蔵政務次官 参議院大蔵委員

長在任期間を除き一貫して党

文教部会に身をおいてこられた

先生にとりてまさに満を持しての

文部大臣就任であり その風爽

としたお姿は当時の新人議員

であった私が今なお良く記憶

してゐるところです

「一年先は庭に花の種を蒔いて

楽しみむ 十年先は山に木を植え

て楽しみむ 予して 百年先の

楽しみと云うのはやはり人を育

つてゐることにある」

文部大臣在任時の先生はこの

ように語り 文教政策の振興に

精力的に取り組まれました

大臣就任直後に召集された

第百二十四回通常国会の参事文教

委員会における 先生の所信表明

に改めて目を通してみるとそこに

生涯学習の推進をはじめ 道徳

教育 環境教育 情報教育の充実

教員の資質向上や 定数改善

更には高等教育の改革 スポツ

文化の振興 国際相互理解や留学

生の環境改善など 誠に多岐に

わたる事柄が主要課題として

列挙されており 先生の文教政策

にかけると熱い念いがひしひしと

伝わって参ります

しかもここに挙げられた項目の

どれもが今なお色褪せることなく

すべてが今日的課題であるという

ことはまさに刮目に値するもの

であり 先生がいに先見性に

富む政治家であったかを何よりも

雄弁に物語るっております

内外ともに社会が目まぐるしく

変化してゆく中で 国民が等しく

幸福で充実した生涯を送るためには

またわが国が一層の発展を遂げ

国際社会に貢献していくためには

その礎となるのは人づくりすな

わり教育であります

このような時節に 文教政策に

通じた井上先生を失ったことは

極めて残念であります

お元気で活躍されていた先生の

お姿がいまも私の脳裏に焼き

ついております

思い返せば 井上先生には私の

父 福田勉夫と 非常に親しく

お付き合ひ頂きました しはしば

福田の私邸をお訪ね頂いた先生は

父と炬燵を挟んで政治はとま

らずさまざま話題に花を

咲かせていらつしました

いまは泉下にて お待ちして、た

父と対話の続きを楽しんでら

しるのてはなつかしいと思ひます

ここに改めてありし日のご功績を

懐え 先生のご遺徳を偲びつつ

衷心よりご冥福をお祈りして

追悼の言葉と致します

平成二十年七月二十日

内閣総理大臣
自由民主党総裁

福田 康夫

支部のうごき

掲示板

*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp> にも掲載されています。

日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。

印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日 時	演題及び講師 又は事業内容	会 場	主 催 連 絡 先	外部より 参加可否
卒後研修会 11月15日(土) 午後2時30分～ 5時30分 11月16日(日) 午前9時～ 11時30分	「臨床・下顎総義歯の吸着」 阿部二郎先生 (東京都開業)	北海道歯科医師会館 札幌市中央区 北1条東9丁目 TEL 011-231-0945	北海道地域支部連合会 連絡先 学術部：中野一博 TEL/FAX 011-892-1818	同窓会員 歯科関係
学術講演会 11月21日(金) 午後7時30分～	「インプラント知っておきたい解剖学：その2」 井出吉信教授 (東歯大解剖学講座)	杉並区歯科医師会館 2F ホール 杉並区阿佐ヶ谷南 3-34-3 TEL 03-3393-0391	杉並支部 担当者：西井和彦 TEL 03-3399-4129	同窓会員
学術講演会 11月23日(日) 午後2時～ 3時30分	「口腔機能の社会的評価・認識の向上を求めて」 川口 充教授 (東歯大薬理学講座)	リーガロイヤルホテル 大阪市北区中之島 5-3-68 TEL 06-6448-1121	近畿地域支部連合会 大阪府支部長：西尾敏生 TEL/FAX 072-223-7588	同窓会員
学術講演会 11月30日(日)	「Ni-Ti時代の根管充填テクニック」 ～基本術式と補完術式～ 加藤広之講師 (東歯大歯内療法学講座)	島根県歯科医師会本館 松江市南田町141-9 TEL 0853-24-2725	島根県支部 支部長：高木瑞穂 TEL 0853-52-2220 FAX 0853-52-3184	同窓会員 島根県歯科医師会 会員
学術講演会 12月6日(土) 午後3時～	演題未定 原田 清先生 (山梨大学歯科口腔外科教授)	談露館 甲府市丸の内1-19-16 TEL 055-237-1331	山梨県支部 連絡先 庶務担当：細川俊彦 TEL 0554-62-3343 FAX 0554-63-3383	同窓会員 一般も可
愛知県支部総会 学術講演会 12月7日(日) 午後5時	「自治体における歯科の位置づけ」 千葉光行先生 (千葉県市川市市長)	名古屋クラウンホテル 名古屋市中区栄 1-8-33 TEL 052-211-6633	愛知県支部 連絡先 学術担当：橋本雅範 TEL/FAX 052-811-3033	支部会員
学術講演会 12月7日(日) 午後1時30分～	「口腔インプラント学研究与教育の展望」 吉成正雄教授 (東歯大歯科理工学講座)	ホリデイ・イン水戸 茨城県水戸市城南 2-2-2 TEL 029-300-1100	茨城県支部 連絡先 庶務：沼田裕之 TEL 0299-96-0080 FAX 0299-97-0093	支部会員 同窓会員
学術講演会 12月14日(日) 午後1時30分～ 午後7時	演題未定 平井義人教授 (東歯大保存修復学講座)	ホテルニューイタヤ 宇都宮市大通り 2-4-6 TEL 028-635-5511	栃木県支部 支部長：関谷和夫 TEL 0284-71-3297 FAX 0284-73-2836	同窓会員

信越地域支部連合会

連合会総会・新潟県支部総会

去る6月21日(土)新潟市ホテルイタリヤ軒にて東京歯科大学同窓会信越地域支部連合総会・新潟県支部総会が開催されました。来賓として同窓会より片倉副会長、関専務理事、片桐理事、大学より高野千葉病院副院長、新潟大学歯学部より齊藤 力教授をお迎えいたしました。

新潟県支部総会后、信越地域支部連合総会は清水 潮信越地域支部連合会長の挨拶で始まり、片倉同窓会副会長と高野千葉病院副院長より同窓会、大学の近況を含めたご挨拶を

いただきました。その後、平成19年度庶務報告、会計報告、来年度開催地を協議して閉会いたしました。

続いて東京歯科大学法歯学講座准教授の花岡洋一先生より『歯科的個人識別の最前線～その落とし穴と新技術～』と題し、現在の歯科的検視の問題点、歯科的個人識別の「2つのD」(DNA, DEGITAL)などについて事例を交えながらご講演いただきました。その後の懇親会は、松川公敏新潟市歯科医師会会長の乾杯の発声で開宴し、新潟古町の芸妓さんの華麗な舞いを堪能しながら始

終和やかな雰囲気ですごし、校歌斉唱、五十嵐 治新潟県歯科医師会副会長の万歳三唱で閉会いたしました。

2次会では偶然にも同じホテル内で新潟大学同門会で母校の柴原教授が講演されていたため、柴原教授も特別参加されて旧交を温めました。

翌日は赤松の原生林の砂丘地にある紫雲ゴルフ倶楽部にて記念ゴルフ大会が行なわれ、新潟の山田潤造先生が優勝、同じく新潟の清水 潮先生が準優勝されました。

(加茂芳江 記)



東海地域支部連合会

総会（静岡県担当）

日時：平成20年9月7日(日)13:00

会場：グランドホテル浜松

総会・記念講演：新館2階

鳳・東の間

懇親会：聴涛館

1. 総会（13:00～14:00）

御来賓

日本歯科医師会会長

大久保満男

東京歯科大学学長 金子 讓

東京歯科大学同窓会会長

大山萬夫

東京歯科大学同窓会副会長

神谷龍司

東京歯科大学同窓会地域選出理事

伊藤成章

静岡県歯科医師会会長

飯嶋 理

静岡県歯科医師会副会長

太田昭二

浜松市歯科医師会会長

柳川忠廣

2. 記念講演（14:15～15:45）

演題：「患者から信頼を得る安全で痛くない歯科治療のために」

講師：伊藤哲先生

昭和50年東京歯科大学卒業

昭和54年東京歯科大学大学院終了(歯科麻酔科)

昭和59年静岡県焼津市開業

3. 懇親会（16:00～18:00）

出席者118名

上記日程で東海地域支部連合会平成20年度総会が行われました。総会では金子学長より大学の近況及び水道橋移転の進捗状況の報告が行われました。特に今年度の国家試験の合格率は全体で4位、私立大学では1位という好結果であったこと、大学の水道橋移転についてはいろいろな将来の状況（歯科に対する厚生労働省の対応および少子化問題等）を考慮した上での決断であるということなど地に足がついた大学執行部の行動力に対し出席された先生方は一応に納得されていました。続いて静

岡県支部長の浅野尹男先生が議長に推挙され円滑に議事が進行され、総会終了後静岡県支部会員の伊藤 哲先生による講演会が行われ局所麻酔薬の種類別基準最高用量や消炎鎮痛剤のNSAIDsの作用機序および副作用、アセトアミノフェン投与方法などについて分りやすく説明していただき、すぐに日常の臨床に役立てることが出来る内容の講演でした。

講演会終了後、会場を移して懇親会が行われました。オープニングは地元芸者衆による三味線、太鼓芸に始まり、乾杯の音頭は地域選出理事の神谷龍司先生により声高らかに行われました。その後各テーブルでは年齢の近い先生たちが学生時代の思い出話に花を咲かせて、おおいに盛り上がりおりました。懇親会後半には日歯の公務を終えた日歯会長の太田昭二先生も駆けつけご挨拶をいただきました。

最後に静岡県支部会員の荻原英生先生のエールによる全員の校歌斉唱で懇親会は盛況のうちに終了致しました。（平川彰生 記）



群馬県支部

平成20年度群馬県同窓会定時総会が、平成20年7月12日(土)午後3時より、ご来賓として同窓会本部より片倉恵男副会長、群馬県歯科医師会より同窓の川越文雄県歯会長、学術講演会の講師として大学より歯科麻酔学講座主任教授一戸達也先生をお迎えし、伊香保「ホテル木暮」に於いて開催されました。

開会后、武安一嘉群馬県同窓会会長が挨拶され、冒頭、春の叙勲及び県総合表彰を4名の会員(松坂 泰、山下雄司、山口保男、森下正教)の先生方が受賞され、同窓会としても誠に喜ばしい年となったこと、また来年は関プロの当番県なので周知な準備をすすめていることを、ご報告されました。富澤憲男顧問の挨拶後、片倉恵男本部副会長より、大学本部が水道橋へ移転することに関する具体的な状況の説明と、同窓会本

部は、平成22年の母校創立120周年記念の準備にますます熱が入ってきているとのご挨拶をされました。続いて川越文雄県歯会長より同月7月24日(木)、関東地区歯科医師会役員連絡協議会をひかえていること、群馬県歯科医師会も更なる変革の時期を迎えていることをお話され、いずれにせよ各地区歯科医師会で、「東歯イズム」を背負った先生方が数多く活躍されているとの挨拶をされました。その後、森下正教先生に議長をお願いし、執行部より平成19年度事業報告、一般会計および福祉共済部会計決算についての報告があり、以上、満場一致で可決されました。

定時総会終了後、一戸達也先生より「有病者の歯科治療」についての学術講演会が行われました。日々の診療の中で、私達は、とかく有病者の治療となると尻込みしがちです

が、一戸先生にご講演いただいた知識をもって向き合えば、決して恐れることはないと確信しました。また忘却曲線が落ち込まないように、定期的に反復学習する必要性を感じました。時間が許せばもっと聴講していたい貴重な学術講演となりました。

1時間ほどの休憩(温泉で体を癒した)後、同ホテル宴会場において懇親会がおこなわれました。武安会長の挨拶に始まり、正木光児先生の乾杯のご発声で開宴しました。和やかに酒宴はすすみ、校歌斉唱、一本締めにて散会となりました。

(大原 正 記)



埼玉県支部

平成20年度総会及び学術講演会開催
去る7月6日(日)、川越にありま
すラ・ボア・ラクテにおきまして、
平成20年度東京歯科大学同窓会埼玉
県支部総会と学術講演会が開催され
ました。

まずは総会に先立って行われた学
術講演会では、「臨床における味覚
障害と、その対処について」という
演題で、東京歯科大学生理学講座教
授の田崎雅和先生にご講演いただき
ました。

総会は幹事長の駒橋邦雄先生の司
会で幕が開き、副支部長の春山良夫

先生の開会の辞、成田賢二先生の支
部長挨拶と続き、来賓の同窓会会長
大山萬夫先生、東京歯科大学副学長
井出吉信先生、埼玉県歯科医師会副
会長小杉国武先生よりご挨拶いた
されました。

議事に入り、議長に森山和郎先
生、副議長に増田憲司先生が選出さ
れ、会議は順調に進行し、第一号議
案：平成19年度収支決算の承認を求
める件、第二号議案：平成20年度事
業計画の承認を求める件、第三号議
案：平成20年度予算の承認を求める
件のすべての議案が承認され、副支

部長馬橋亟男先生の閉会の辞にて平
成20年度総会は終了いたしました。

引き続き部屋を移して行われた懇
親会では、まず埼玉県歯科医師会監
事の増田紀男先生にご挨拶いた
だき、副支部長粟生田友三先生の乾杯
で祝宴となりました。綺麗処を横目
に見ながら美味しい料理に舌鼓を
打ち、少々お酒も入って楽しいひと
ときを過ごしました。昨年までの役
員の退任者表彰、また、新入会員
(金谷陽介先生、安井将生先生)の
紹介が行われ、記念撮影、校歌斉唱
の後、副支部長の大和田一彦先生の
閉会の辞にてお開きとなりました。

(海野 智 記)



横浜南部支部

会員・家族・従業員

夏のレクリエーション開催

～八景島花火&バーベキュー～

平成20年8月23日(土)午後6時30分より横浜杉田ゴルフ場アイアンコースにおいて、横浜南部支部毎夏恒例の会員・家族・従業員レクリエーションが行われた。今年は「横浜市金沢区主催の花火大会を見ながらバーベキューを楽しもう」という企画で開催された。

玉井達人支部長の挨拶の後、山下正雄会員の乾杯で開会した。当日は生憎の空模様で屋外での開催が危ぶ



まれたが、浅川 仁厚生担当理事始め一同の願いが天に届いたものか、開始直後に若干霧雨になった程度で、天気は何とか持ちこたえてくれた。バーベキューが進むころ、間近の会場から轟音と共に美しい花火が打ち上げられ始めた。一同歓声と共にそれを眺め、夜空を飾る大輪の花に一層食欲が増したのか、ビールの消費量が格段に増え、瞬くうちに料理もお皿だけになってしまった。

花火大会が終わるころ、用意された流しそうめんを楽しんで全員満腹となり、あっという間の2時間が過ぎた。最後に山下 誠副支部長の挨拶で閉会した。



(広報・渡邊宇一 記)



川崎支部

平成20年6月14日午後4時より箱根湯本の「ホテルおかだ」において川崎水橋会学術懇親旅行が行われました(一泊二日、天候晴れ)。

今回は講師として母校東京歯科大学有床義歯補綴学講座より櫻井 薫教授をお招きし、「患者が満足する総義歯を作るために2008」を演題に熱弁を振るっていただきました。

1. 患者さんの満足の得られる総

義歯を作るには十分な診査により患者さんをよく知る必要があります。

2. 形態的要因として歯槽頂と実際の骨形態の違いを把握し、頬棚および周囲筋群の十分な触診を行いながら床の外形線および人工歯の排列位置を決定する。

3. ブラキシズムによる悪影響を防ぐための呼吸法

など我々の明日からの臨床に役立つ事柄についてご指導いただきました。

講演終了後は各自、ホテル名物温泉にてのんびり日頃の疲れを癒しました。7時より講師の櫻井教授を囲みながら、飯田会長以下川崎水橋会会員出席者20名、本部同窓会専務理事関 泰忠先生に特別参加いただき和やかに宴会が開催されました。9時からは場所を移して2次会のカラオケ大会が開催され、ここもまた大いに盛り上がることができました。

翌日は各自朝食後自由解散となりました。楽しく充実した一泊二日旅行であったと思います。

出席者は以下の通りです

(会長) 飯田
(副会長) 古賀, 関, 作間
(講師) 桜井(薫) 教授
(来賓) 関 本部同窓会専務理事

(会員) 中川, 原島, 鹿野, 島, 松島, 平尾, 福嶋, 玉井, 山口, 松村, 中野, 杉之内, 大塩, 川越, 島 (島 夏夫 記)



東 信 支 部

親睦ゴルフ

8月31日(日)に立科ゴルフ倶楽部にて「同じ釜の飯を食らった仲間同士」が1日楽しみました。

昨日まで天候不順が参加者の行いが良いのか好天に恵まれ、日陰では爽やかな秋を思わせる微風の中、珍プレー、好プレーが続出し、6~60インチ・リプレースOKの気楽で楽しいコンペとなりました。写真前列の老組は後半スコアを伸ばし元気。後列の中堅組?は逆に悪くなり元気がありませんでした。

成績はゴルフ37年目で90を切り勢に乗っている土屋が47・45, H16.8で優勝。東信のシングルプレーヤー荻久保が43・46, H10.8で準優勝。朝、奥さんから「〇〇先生にだけは勝ちなさいよ」と激励されながら黒岩が51・57, H25.2でBBでした。

スタート前、昼食時や懇親会時には同窓会、歯科医師会、診療技術や政治の事までユニークで斬新な活発意見交換が交わされ有意義な一日でした。残念な事は会員42名中参加は

8人で、若手の参加もない事です。

参加者：黒澤明雄(S29) 中島博忠(S35) 村居正雄(S42) 土屋潔(S44) 宮島正義(S46) 黒岩茂(S52) 雫田和成(S53) 荻久保常顕(S58) (土屋 潔 記)



大分県支部

平成19年度総会・懇親会

4月19日(土)午後3時30分より大分全日空ホテル・オアシスタワーにて平成19年度・大分県支部「神潮会」の総会・学術講演会が同窓の先生方14名の出席を得て開催されました。

まず、吉武 勝副支部長の開会の辞に続き、亡くなられた3名の先生方に対し全員で黙祷を捧げました。吉澤健介支部長の挨拶・会務報告の後、大塚 亨監事より監査報告がありました。その後総会の協議事項についての審議に入り、すべての案件が承認され総会を終了しました。

本年度は学術講演会として独立行政法人国立病院機構「西別府病院」より管理栄養士の渡邊千穂先生と歯科総合スポーツ外来スポーツ歯科部長で当会会員の保科早苗先生にご講演をお願いしました。

まず、渡邊先生には「スポーツと食事・栄養」という題で、普段指導されているスポーツ選手の食事・栄養の経験を元に、トレーニングの疲労回復に食事が重要な、バランスのいい食事の取り方について、

正しい水分補給の方法とタイミングについて、など身近な食事・栄養の話題を分かりやすくお話していただきました。また最近サプリメントを摂取する人が増えているが、本来は食事ですべての栄養素をバランスよく取るのが理想で安易にサプリメントに頼るべきでないとも仰っていました。

続いて、保科先生には「東京歯科大学スポーツ歯学の歩み・そしてこれから」という題でまだ新しい分野でなじみのない先生方も多いスポーツ歯科について、歴史から詳しくお話していただきました。

マウスガードの歴史では、日本で最初にマウスガードを応用したのは本校出身の大久保信一先生であったり、石上教授の作られたマウスガードを装着してスピードスケートの清水選手が金メダルを獲得したなど興味深いお話をしていただきました。また、マウスガードの効果として

- ①骨歪みの減少
- ②重心動揺の減少

があり、不正咬合と重心動揺には関係があり、しっかり咬んだほうが体

は安定するとのお話でした。最後にこれからのスポーツ歯学として、スポーツ歯科=マウスガードという概念から離れないと、これからのスポーツ歯科はないのではないか、そのためオーラルアプライアンスという概念のもと、いびき外来におけるスリープスプリントの応用などもひとつの方法で、ただ成功させるには医科との連携が重要とのお話でした。

日頃、スポーツをされている先生方も多く、講演終了後はお2人の先生に皆さんたくさんの質問をさせていただきました。

記念撮影終了後、場所を府内町のレストラン「ジュジュブ」に移し、懇親会を行いました。お2人の講師を囲んで和気藹々と大いに飲んで語り、たいへん楽しい時間を過ごしました。その後、2次会にもたくさんの先生方が参加され夜遅くまで親交が続きました。

翌日は「セントレジャーゴルフクラブ城島高原」にて8名の先生方の参加でゴルフコンペが開かれ、神崎康司先生が優勝されました。

(小野 聡 記)



わが県 長崎

長崎県

遠い昔、若い僧侶や船乗り達は隣の大国・中国へ渡ろうと海岸に立って風待ちをしていたそうです。

そこは長崎県の平戸や五島列島の海岸であった……。

目的は彼の国の文化や思想あるいは産物を日本へ持ち帰るためであったようです。17世紀頃からは鎖国日本の海外への唯一の窓口として「長崎」を通して文化や産物の交流が続ききました。つい100年ちょっと前まで、そうであった。考えてみれば長崎は世界に向けて日本を紹介し、又世界の事を日本に吸収する窓口、つまり情報の発信基地であり、受け入れ基地であったわけです。

本県は小さな県です。点在する島々を加えても面積は小さい県のベスト8ぐらいでしょう。しかし、山の「雲仙国立公園」、海の「西海国立公園」と二つもの国立公園をもち、海岸線は日本一の長さを持っています。いずれも気候温暖に恵まれて、いつでも訪れる人をなごませてくれます。

又、県内には点在する世界遺産に申請する古い教会群、鎖国時代の建造物（とくに長崎）……も見もので

す。飽きたら雲仙の温泉へいかがですか？

旅の楽しみの一つは「食」でしょう。日本一の海岸線はおいしい魚に恵まれています。釣りたての魚が安く、多種多様の料理に新鮮さが花を添えます。美味ですよ。島で育った牛は夕風に吹かれて肉は旨みを増すと云います。これも又絶品……。

中華料理（長崎）、卓袱料理（長崎）、ガンバ（島原）、佐世保バーガー（佐世保）、……皆様はご存知ですね。

ただ、長い間、日本と貿易を行っていた「オランダ料理」があまり伝わっていないのは不思議です。なんとも和華蘭です。

あるとき、雪国から我家を訪れた親類がポツンと云いました。

“この長崎県から偉い人は何人位出

たか？”

“ウーン、そう云われれば……、ないかなー。”

“出るわけないと思うよ。ここはあまりにも良い気候風土に恵まれすぎてるもんな。のんびりしていても生きていれるからなあー。”

豊かな天然資源とやさしい気候風土に恵まれ、のんびりした県民、しかし近代文明を最初に受け入れた県……、それが長崎県と思っています。

そして、本県に来られたら是非、訪れて欲しいところがあります。それは長崎にある「原爆資料館」です。そこで見て、感じて、考えて下さい。

（江崎梅太郎 記）



東京歯科大学 創立120周年記念事業

■創立120周年記念事業マスコットキャラクター 愛称決定

愛称 「ビバノスケ」



本年、3月から4月にかけて募集致しました本学創立120周年記念事業マスコットキャラクターの愛称が、教職員、学生等からご応募いただいた76点の作品の中から、平成20年5月30日（金）に開催された第3回創立120周年記念事業実行委員会において、「ビバノスケ」に決定されました。愛称の由来は、本マスコットのモチーフであるピーバーと本学の建学者として偉大なる足跡を残した血脇守之助先生のお名前をあわせたものであり、

角膜センタースタッフの皆様からご応募いただきました。

■創立120周年記念式典・祝賀会開催日決定

創立120周年記念式典・祝賀会を平成22年5月22日（土）に開催することが、平成20年5月30日（金）に開催された第3回創立120周年記念事業実行委員会において決定され、同日開催された第649回理事会、第218回評議員会において報告、承認されました。

■創立120周年記念事業委員会・部会組織について

平成20年5月30日（金）に開催された第3回創立120周年記念事業実行委員会において、本事業の委員会・部会組織に学生関係行事部会（委員長：佐藤 亨学生部長）が追加されましたので、ご報告いたします。

東京歯科大学広報230号 36ページより転載

クラス会だより

クラス会開催日程 その1

いとし会（昭和24年卒）	とき	平成20年11月15日（土）
	ところ	東京銀座・南蛮1934
久喜会（昭和36年卒）	とき	平成20年11月2日（日）午後4時～
	ところ	水道橋・東京ドームホテル42F ペガサス
十期会（昭和37年卒）	とき	平成20年11月28日（金）～30日（日）
	ところ	総会 29日（土）午後6時 沖縄・ロワジュールホテル那覇
踏志会（昭和41年卒）	とき	平成20年11月1日（土）・2日（日）
	ところ	広島県および愛媛県

クラス会開催日程 その2

翔 蜻 会 (昭和55年卒)	と き	平成20年11月2日 (日) 午後5時から
	と ころ	飯田橋・ホテル メトロポリタンエドモント
紫 雲 会 (平成4年卒)	と き	平成20年11月15日 (土)
	と ころ	飯田橋・ホテル ニューオータニ

五十鈴会

昭和25年卒

総会は例年と違い、8月28日～30日、富山県富山・高山にて、内田、女川両氏のご尽力にて行われました。出席27名、富山駅に集合し、北前船資料館、富山かまぼこ、反魂反など見学後、市内ホテルにて、平成20年度五十鈴会総会初め、司会は早河、開会の辞村上、世話人代表内田、会長と両挨拶、議長に高原指名、次に6名のご冥福を祈り、庶

務・会計報告を中尾、監査報告は天野、その他、無事終了しました。

翌日は五箇山合掌集落、岩瀬家など見学、市内に泊り、79歳～88歳の年齢にも拘らず、全員元気で、すぐ学生時代に戻り、楽しく過ごしました。最後は、高山朝市、陣屋、古い街並みなどを見てまわり、昼食は飛騨牛しゃぶしゃぶを食べ、次回も、元氣にお逢いするのを、楽しみに高

山駅にて解散。

内田氏の気配り、良きガイド、又校歌のCDを頂き、内田、女川両氏に深くお礼を申し上げます。

出席者

内田夫妻・女川夫妻・三宅夫妻・天野琢也夫妻・小倉夫妻・佐藤泰彦夫妻・大山夫妻・早河夫妻・天野恵・伊藤公・河西・斉藤秀夫・田代・高原・中尾・望月・森山・間中・村上

(村上守正 記)



いそむ会

昭和26年卒

第56回いそむ会は東伊豆大滝温泉開催となりました。集合は東京駅の待ち合せ場所として有名になった「銀の鈴」現在改装中の雑踏のなかで、旧交をあたためながら「踊り子」9:00発にて河津到着11:31。先ず送迎バスで、途中大滝庵（宿泊旅館、運龍の姉妹店）で昼食となりました。ここは山間の中に閑静な和造りの店で、運龍の裏で作った炭と塩のオリジナル“竹炭うどん”が名物であります。嘗っては“伊豆の踊り子”の雰囲気は今も漂う山麓を愛でながら目的地である大滝温泉「運龍」旅館に到着。この旅館は池泉回遊式数寄屋作りの静寂な和風旅館で、日頃の憂さを拂すには真に心和むなよりのロケーションでありました。到着後、暫しの休憩後希望者は宿泊者専用の旅館の裏手に聳える山脈の遊歩道「花小路・はなこみち」のミニハイキングをする。この遊歩道は緩やかな勾配の山道で、天城山系に咲くアジサイ園を始めアケ

ビのトンネルなど、多彩な植物が目を楽しませてくれます。この約1時間の山登りに女性が大分挑戦しておりましたが、因みに頂上は十合目標高530米で辿り着いたのは女性3名、男性は2名でありました。そうこうするうち、夕暮れの一時は回遊式の池泉に泳ぐ鯉を眺めながらの談笑、或は趣の異なる11の浴槽に湯あみを堪能する人。なかには萩の入川のせせらぎの河原の露天風呂、ここは河原までの途中工事中で使用されていないが、強引にそれを無視してこの河原の湯を使った3人の男性がおりました。その貴重なスナッフは幹事の所有するところであります。やがて日が暮れば、クラブでの総会は約1時間で終了。その後は、型通りの宴会の後、ホテル見物となりますが、夏の始まりを告げる天城山麓の清流に無数に飛び交うホテルの光が闇夜に交錯する風物詩は目を凝らす幻想的なものでありました。

翌日は帰途、河津駅までの途中、

「河津バガテル公園」に寄りました。ここは数千の色彩と香りがシンメトリーに広がる壮大なローズガーデンを散策し、ベルサイユ宮殿のプチトリアノン（小離宮）を再現した建物でのコーヒータム、昼食はカジュアルにフランス料理を楽しめるバイキングを堪能した後、帰路につきましたが、諸兄諸姉は再び東京駅ホームで再会を約し解散となりました。

尚、稿をおくにあたって、今回の第56回いそむ会を企画してくれました、飯田大兄には最後のご奉公と思ひ幹事をお引き受けしますとのこと、その労を感謝する次第であります。（貝塚雅信 記）



十二期会

昭和39年卒

函館・青森大会

H20年8月2日～6日

卒業以来、今年で44回目を迎える同期会を、北の国函館と青森を会場に合同で開催しました。

遠くは九州大分県からも参加され、ご夫妻、親子共々総勢38名の皆様の参加を頂き、盛況な同期会となりました。

前半の函館会場では、どしゃ降りの雨の歓迎を受け、ゴルフ組は HALF でプレーを中断、観光組もニシンで有名な江差地方を見物したのですが、傘を差しながらの歴史探訪も少々辛いところがありました。

夜は恒例の総会を開催し協議事項等も無事終了、特別講演として元函館市役所に勤めておられた方の函館戦争についての話を聞き、暫し明治維新の頃に思いを馳せました。

北国の魚介類料理の美味しさに舌鼓を打ち、和やかな懇親会であった

ことは、言うまでもございません。

次の日は幸いなことに、朝の強烈な太陽の眩しさに起こされ、新五陵郭タワーに昇って函館の街を一望し、次の会場である青森に向け一路津軽海峡を高速船フェリーで渡り、ねぶた祭り真っ最中の青森港に到着、三内丸山遺跡を見た後、夜の豪華絢爛、躍動感にあふれたねぶた祭りを見学しました。

数名の方々には、実際にねぶた衣装を着て祭りに参加していただきました。共に、あの魂を揺さぶる様な太鼓の音に鳥肌が立つような感動を

覚えたようで、祭り期間という大変な時期ではありましたが、これを企画して良かったと思った瞬間でした。

最終日は弘前、津軽家の善提寺である長勝寺を参拝し、五所川原の立ちねぶた、太宰治の生家「斜陽館」、津軽三味線の生演奏を聴き、津軽金山焼の工房を見て、すべての行程を終了、平成20年の十二期会を無事に終えることができました。

来年は九州大分県で開催する事に決定しました。また元気に皆さんと再会できることを祈り報告と致します。
(住吉辰郎 記)



写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。



志 学 会

昭和42年卒

7月7日、8日、9日と北海道洞爺湖サミットが開催され、連日テレビでもものしい警備の状況を報道、全世界に洞爺湖の地名が発信されました。G8の首脳と中国はじめ20数カ国の首脳が訪れ、何ごともなく無事終了。昨年40周年を開催の東京総会で20年度の総会を洞爺湖で開催と決定、第一の希望をザ・ウインザーホテル洞爺との声が多く、早速準備に取り掛かり、ウインザーホテルの担当者と昨年一杯交渉したが、6月、7月は外務省より予約を取ってはいけなくなり、準備の都合、洞爺湖畔の宿に変更、サミット終了10日後の7月19日にザ・ウインザーホテル洞爺を見上げる洞爺パークホテル・天翔での開催に漕ぎ付けた。前日の18日に17名の先生・家族が北海道入り、夕食会を楽しんだ。翌19日の早朝から、ゴルフに、観光に出かけたが、先生がたを歓迎すべく、朝は涼しく、日中には晴れ渡り北海道らしい季節で当日を迎えた。やはり北海道洞爺湖サミッ

トのザ・ウインザーホテル洞爺に興味をもたれる方が多く、見学してから、三々五々、志学会総会の開催地のホテルに到着、受付を済ませ、5時よりの総会には39名の先生が出席、大岡会長の挨拶、会務報告、薬師寺副学長の大学現況、柏崎から出席の高垣先生の地震の見舞いに対してのお礼の言葉、次年度開催地の鳥取市の田中先生の言葉、等と進み、次次年度開催希望地愛知の加藤先生の内諾?の挨拶で終了。その後、家族共々59名で記念撮影、懇親会に入りました、『おもてなし』の気持ちを最大優先、先生・ご家族に噴火湾の幸を味わってもらいました。又、懇親会後には洞爺湖ならではの花火を湖上遊覧船にて観賞戴きました。そこからはここ数年の慣例となる2次会・3次会と65歳以上の年齢を感じさせないくらい『馬力』をみせ、洞爺湖での夜を満喫されたようです。翌日の20日には、それぞれの都合で帰郷する方、道内を観光する方と別れを告げ、37名の先生・ご家族

で2008年の有珠山噴火の噴火口の散策、ビジターセンター・火山科学館の見学、洞爺湖中島遊覧、昼食には洞爺湖温泉の老舗レストラン『望羊蹄』を貸切、ジャガイモスープ、アスパラの前菜、メインには北海道沿岸でとれたキングサーモンのステーキを地元産ワイン、ビール等で楽しんでもらいました、皆さん大満足で好評でした。

昼食後は、函館観光、余市・小樽観光に行く方と別れ、昭和新山を見学、ロープウェイにて有珠山山頂に行くが、あいにくの天気で、噴火湾、洞爺湖を望めませんでした。

最後に熊牧場に行き、ヒグマの大きさを見てもらい、帰郷される飛行機に間に合うよう、次回鳥取での再会を願い、みなさんを見送り、観光バスは一路、新千歳空港に向かいました。これで、昨年より準備をかかさね開催した志学会総会を終了、後日、皆さん無事、帰宅され普通の生活に戻られた事を、風の便りで確認、クラス会たよりで本当に終了します。 (合田 功 記)

写真が同窓会ホームページ<<http://www.tdc-alumni.jp>>に掲載されています。



七十九期会

昭和49年卒

長かった梅雨も明けた翌日の7月20日、79期会クラス会が開催されました。4年前東京の帝国ホテルで卒業30年を開いた時、次は静岡に指名され、静岡はやはり伊豆がいいとのことで伊豆の国市伊豆長岡温泉のおとり荘にいたしました。当日は温泉に早く入りたいのか、待ちきれないのか、集合時間よりも早く着いた人が何人もおりました。出席者は、北は北海道札幌から、南は九州大分まで、全国から34名の参加を得て、午後4時より総会を行いました。79期会は、現在会長が空席ですので、大塚信郎君を会長代行に指名し承認され、本人からも挨拶がありました。次に日本歯科医師会会誌編集委員会委員長の梅村長生君より、日本歯科医師会の現状及び将来展望について40分程熱弁をふるっていただき、鋭い質問も飛び出して非常に盛り上がりました。その後各自、部屋割りに従い、各部屋へまた温泉へと

日頃の疲れをいやし、夜の宴会に備えました。

宴会は遠方の大分田中一秀君の乾杯の発声で始まり、地元の日本酒、焼酎等どんどん空いていくうちに和気あいあいとなり、一人ずつ近況報告をし、仲間の報告も交えて時間まで語り絶えることがありませんでした。その後、旅館のスナックの二次会では青春時代のカラオケ合戦で汗びっしょり、部屋に戻っても遅くまで飲み続き、話し続くので、訳がわからなくなり、自然と眠りに落ちてしまいました。翌朝温泉まんじゅうをおみやげにゴルフ組11名は自由解散、次回の再会を約束して別れました。ゴルフは沼津ゴルフクラブで21日、暑い中熱戦をくり広げた結果、幹事の私太田がホームコースの利があったと思いますが、優勝してしまいました。すいません。

2日間にわたり同級生と過ごした時間は古き良き時代の学生時代を思

い起こすとともに、気の置けない仲間の思いやり、本物のやさしさを感じました。日頃のストレスも発散出来たし、皆がいつまでも元気で活躍されますことを心より願ってやみませんでした。最後に、皆元気で再会出来ましたことを形に表すため、会費の残額を岩手・宮城内陸地震へ義援金として寄付しましたことを申し添えます。

(出席者名) 34名

間、石田、石塚勇・一美、井上、梅村、大澤、太田、大塚、笠原、神田、北浦、小滝、坂井、佐藤裕・洋子、篠原、清水、高井、竹内、田中一秀、田中こずえ、玉川、寺岡、中嶋、中野、成川、西原、萩倉、町田和之、水口、村松、山崎隆、竜崎。

(ゴルフ参加者名) 11名

石塚勇、太田、神田、小滝、坂井、高井、成川、西原、萩倉、町田和之、竜崎。(太田昭二 記)



すいどうぼし

巨星墜つ 井上 裕理事長の壮絶な最期

鈴木 義 政（昭和24年卒）

平成20年6月22日は忘れることの出来ない青天霹靂の日となった。

“ついに逝く 道とは かねて聞きしかど 昨日 今日とは 思はざりしを”

かの有名な粹人在原業平の歌の如く、余りに突然で、余りに思いがけない、悔やみて余りある最期であった。ましてご両親共90余～100余歳の天寿を全うされたDNAの持ち主でもあり、健康には常に細心の注意を払っていたので、優に100歳を超えて尚エネルギーな活躍してくれるものと固く信じていたのに……、惜しんで余りあるなど、平凡な筆舌では現し得ない衝撃で身の震える思いだ。

地盤、看板、靴、何一つない一介の青年歯科医が、その純粋な夢を現実捉えることは余りに至難な事と誰もが思っていたのに、後には歯科界では前人未踏の文相、参議院議長という政界最高の位にまで登りつめたとは!! よくぞここまで、偉業を成し遂げたものだと誰もが心から称賛し驚嘆し感嘆した。

文字通り国家の至宝の大政治家になり、八面六臂の大活躍をしていた最中、多年に亘り信頼していた政策秘書に名前を悪用され、自ら監督不行き届きの責任をとり、断腸の思い

で政界を去ったことは、歯科界にとってもかけがえのない珠玉を失う大打撃であった。

今日までの彼の赫々たる経歴と業績は、同窓諸氏なら知悉している筈だから割愛するが、井上 裕の何がここまで大成させたのか、嘗て私は、「人間井上 裕の魅力」と題して本誌に書いたので重複はさけるが、それ以外に私達にも知り得ない天才的面もあったかも知れない。

然し天才は1%の閃きと99%の汗だと云われる。

並の人間では出来ない汗の結晶が千葉県議3期連続最高点となり、初めて出馬した衆議院選に苦杯を嘗めるや不屈の闘志と燃えたる情熱と飽くなき行動力と確たる信念に加えて生涯の愛妻 芳枝賢夫人の献身的奉仕に支えられ、次の選挙まで朝から晩まで選挙区を廻り、説法と戸別訪問を重ねて選挙民の理解を懇願した。足を棒にし、靴も何足もボロボロにしたと後に彼から聞いた。(勿論選挙のない常時活動の話だ)。そして次の選挙に見事雪辱を果たし、やがて参議院に鞍がえするや、千葉地方区だけで実に100万票以上の大得票を獲得したのだ。考えられない偉業だ。以来3期連続最高点の座は誰にも譲ることはなかった。如何に

選挙民の心を掌握し、彼の凡てが如何に高く評価されているかの証に他ならない。

又彼は県議から参議院議長を最後に政界引退するまで、何時でも何処でも誰にでも「私は歯科医ですから」と必ず自己紹介し続けて来た。こんな面でも、歯科医師の社会的地位向上に絶えず努力して来た姿が伺え、頭が下がる思いだ。

大学理事長としてのビジョン、今後の構想は本誌6月号に学長、同窓会長の記事と共に掲載されているが、母校120周年の事業に残る命を懸けていただけに、難局も多々あるにも拘らず志半ばで旅立ちを迎え、嘸かし心残りであったろう。今はただ有力同窓生の理解と協力の得られる日が近からんことを願い、構想の実現を祈るのみである。

物凄い迫力でこの人生を駆けぬけて行った男、人一倍人生意気に感じ、人一倍感動する愛すべき男、そして巨星井上 裕（私は敢えて壮絶な最期と表現したい）は偶像として今尚私の胸に脈々として息づいている。

限られた紙面に意を尽せぬままの拙文で追悼にかえる。 合掌

庶務日誌

- 9月
- 1) 理事会
9月10日(水) 第4回常任理事会
- 2) 委員会
9月1日(月) 学術部委員会 (運営委員会)
11日(木) 広報部委員会 (会報編集)
12日(金) 学術部委員会 (将来検討委員会)
17日(水) 学術部委員会 (プログラム委員会)
18日(木) 学術部委員会 (プログラム委員会)
19日(金) 情報部委員会
19日(金) 学術部委員会 (研修委員会)
24日(水) 学術部委員会 (研究部委員会)
25日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
26日(金) 保険部委員会
26日(金) 渉外部委員会
29日(月) 学術部委員会 (企画会議)
- 3) 出張
9月6日(土) 関東地域支部連合会総会
大山会長, 関専務理事, 井原理事出席
学術講演会 講師・佐藤俊彦氏 (株式会社ドクターネット代表取締役)
6日(土) 長野県連合会 片倉副会長出席
6日(土) 北信支部学術講演会 講師・清水武先生 (長野日赤歯科口腔外科インプラント)
7日(日) 東海地域支部連合会総会 (静岡県支部担当)
大山会長, 神谷副会長, 伊藤理事出席
学術講演会 講師・伊東 哲先生 (静岡県開業)
- 4) 事業
9月2日(火) 東歯系全国社会保険指導者懇親会・懇談会
4日(木) 第36回同窓会主催全国ゴルフ大会
6日(土) 卒後研修セミナー [実技セミナー (No.5 導入しよう!インプラント治療)]
7日(日) 卒後研修セミナー [実技セミナー (No.5 導入しよう!インプラント治療)]
11日(木) 東歯関係日歯役員・代議員, 都道府県歯会長と同窓会役員との懇談会
- 10月
- 1) 理事会
10月11日(土) 第5回理事会
- 2) 委員会
10月1日(水) 学術部委員会 (運営委員会)
9日(木) 学術部委員会 (運営委員会)
10日(金) 広報部委員会 (会報企画)
15日(水) 厚生部委員会
22日(水) 情報部委員会
25日(土) 学術部委員会 (運営委員会)
27日(月) 学術部委員会 (企画会議)
29日(木) 学術部委員会 (研究部委員会)
- 3) 出張
10月18日(土) 九州地域支部連合会総会 (福岡県支部担当)
江崎副会長, 関専務理事, 濱田理事出席
18日(土) 全国歯科大学同窓・校友会懇話会
大山会長, 柳副会長, 宮地常任理事出席
- 4) 事業
10月26日(日) 卒後研修セミナー [ベーシックセミナー (No.6 パーシャルデンチャーをもう一度学ぼう~設計の秘訣~)]
- ## 個人情報保護に関する現状
- 理事会に於いても何回か協議事項, 報告事項として取り上げられていますが, 個人情報保護については会としての統一見解が必要であり, 検討の段階に入っています。
- 同窓会会報に於いては, 会からの情報発信と同時に会員相互の懇親の意味を含めて, 会員の動向など個人情報に属する事項が多く含まれています。当委員会としては, 内容に慎重の余り, 会報発行の趣旨を失うような制限は加えたくないと考えています。
- 現状では従来の編集方針に従い, 執筆者の意図を尊重し, 原則原文のまま執筆者責任として掲載しています。
- 今後, 名簿の発行時期も到来し, 同窓会としての見解も出されると思いますが, 個人情報保護を尊重しつつ, 現状維持といたします。
- 会員のご意見もお聞かせ下さい。
- (広報部委員会)
- 34

逝去会員

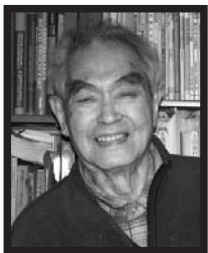
下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略・届出順)

●昭 23 卒	立原 健 (81歳)	20. 7. 31
茨城県支部	〒310-0851 水戸市千波町東久保72-1	
●推薦会員	菅野 隆三 (73歳)	20. 8. 8
町田支部	〒194-0041 町田市玉川学園3-6-7	
●昭 16.12 卒	牛村 宏 (89歳)	20. 8. 11
石川県支部	〒920-0043 金沢市長田1-5-45	
●昭 29 卒	原田 望成 (79歳)	20. 8. 10
目黒支部	〒158-0095 世田谷区瀬田1-9-18	
●昭 24 卒	林 徹郎 (77歳)	15.
●昭 25 卒	神藤 義昭 (80歳)	20. 8. 18
群馬県支部	〒373-0057 太田市本町9-13	
●昭 19.9 卒	鹿野 善孝 (85歳)	20. 8. 2
江戸川支部	〒133-0051 江戸川区北小岩2-13-6	
●平 7 卒	内田 仁志 (40歳)	20. 8. 19
練馬支部	〒177-0041 練馬区石神井町1-18-4	
●昭 48 卒	二瓶 博美 (60歳)	20. 9. 3
福島県支部	〒969-4124 喜多方市山都町字墓ノ後457	
●昭 44 卒	三田 春美 (63歳)	20. 9. 10
栃木県支部	〒329-3222 那須郡那須町寺子丙1-116	
●昭 25 卒	山口 和夫 (78歳)	20. 9. 14
北多摩支部	〒189-0022 東村山市野口町1-17-7	
●昭 19.9 卒	勝田 清和 (85歳)	20. 9. 14
三重県支部	〒514-1136 津市久居東鷹跡町9	
●昭 22 卒	亀井 正彦 (83歳)	20. 9. 16
静岡県支部	〒410-2405 伊豆市加殿25-11	
●昭 29 卒	古屋 嘉男 (79歳)	20. 9. 17
横須賀鎌倉支部	〒238-0032 横須賀市平作2-11-6	
●昭 50 卒	橋本 優 (59歳)	20. 9. 23
埼玉県支部	〒359-0044 所沢市松葉町19-11	
●平 9 卒	矢野 浩介 (40歳)	20. 9. 29
広島県支部	〒729-0412 三原市本郷南6-17-18	
●昭 24 卒	藤井 昭治 (80歳)	20. 9. 27
埼玉県支部	〒335-0003 蕨市南町3-20-2	
●昭 19.9 卒	鈴木 鍾美 (84歳)	20. 9. 26
岩手県支部	〒020-0107 盛岡市松園1-33-2	

- 昭 31 卒 西 口 定 彦 (78歳)
横須賀・鎌倉支部 〒248-0032 鎌倉市津1101-59
20. 10. 5
- 昭 16. 12 卒 斉 藤 孝 正 (88歳)
城 東 支 部 〒136-0076 江東区南砂3-13-9
20. 9. 25

神原悠紀田郎君を悼む



神原君からの電話は1ヵ月に1回以上、10年余り続いたであろうか。

「どうだい元気かい、別に用は

無いんだけど、変わらないね」これがいつもの挨拶の言葉だった。

私の視力障害をかねてから知っていて、失明に近くなるのを心配してくれていたのであった。

先月定期便の彼からの電話が無いので、こちらからしてみたところ、「車椅子になってしまったよ」と他人事のように元気な応答にびっくり

した。

原因や経過など聞く気にもなれず、いつものように「お大事にね」「じゃあね」と言っていて電話を切ったが、その翌日逝去の知らせに愕然としたのであった。

昭和12年卒、蜂和会の生き残りは4人になってしまった(卒業時165名)。同窓会関係とクラスのまとめ役の君を失って、一瞬呆然とした。

あの世に席順があったら、君の隣の席を取っておいてもらいたい。頼むよ、僕の逝くのもそう遠くはないだろう。ゆつくり話したいと思っていた事もあるので。

蜂和会 (昭和12年卒)

学生時代は、管弦楽部のピオラ奏者として目立っていた。

現在では到底想像も出来ない事であるが、夏休みの演奏旅行には、超一流の女性歌手の賛助出演があり、4年生の時の歌手は当時人気絶頂のブルースの女王淡谷のり子であった。

君は向かって右側の最前列で、大きなピオラの奏者で、何か貫禄があった様に思う。

その後の君の活躍とクラス会の思い出は、書けばきりが無いので割愛し、ご冥福を心からお祈り申し上げます。

(押見 宏 記)

武井範彦君を偲ぶ



武井範彦君が幽界に去って、間も無く1周忌を迎えることになる。昨年の12月28日の夕刻、ご息和彦先生

より悲痛な声で電話があった。「父の容態が悪化し、急遽都立墨東病院に入院した」とのことで、在京幹事、飯田君、大森君、桑田君、小生でこの急なことに驚き、翌日29日早速に病室に見舞った。事前に和彦君より症状の深刻さを聞き覚悟をして彼に接したが、我々一人一人の手

を握ったその手には思ったより力があったので、或いは小康を保ってくれるかと一抹の期待をもって帰った。而し翌日30日の早朝、和彦君の電話で「父が亡くなりました」との訃報に接した。彼のトレードマークである口髭、顎鬚の白髪を風に靡かすごとく我々の前から駆け去ったことに、唯々茫然とするのみであった……。想えば下町らしい気風のよさで、食通である彼は墨田区緑町「かど家」に伝わる秘伝の八丁味噌仕立ての味噌煮、しやも鍋の味を教えてください。或る時は、「味は飯田で、人気は駒形」の歌い文句で有名な合

いそむ会 (昭和26年卒)

羽橋の「どぜう飯田屋」に暑気払いで案内してくれた。それはいく棟も重ねた先の隅田川での夜空をこがす花火の音が下町情緒を弥が上に繰り広げる平成19年7月のことであった。いそむ会にあっては、その旅行の二次会でその白髪の風貌から発散するムード作りに、どんなにか集う人々の心を和ましてくれたことか。真に数々の懐かしむ思い出を残して、この墨東の粹人は我々の脳裏に多くのことを刻んで逝った。今は唯、君のやすらかなご冥福を祈るのみである。

(貝塚雅信 記)

◆投稿規定

(1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

(2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

(3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文

のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

③ 「追悼」は、500字程度

- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

(5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ <http://www.tdc-alumni.jp/only/kouhoubu.html> をご覧下さい。

◆へんしゅうこうき

★ 上記投稿規程欄に、電子メール投稿のための同窓会ホームページアドレスを追加しました。電子メールによる投稿をご希望の方は、別途デジタル媒体による投稿規程を良くお読みになりご利用いただき、あわせて同窓会ホームページも閲覧お願いします。

★ これから数年間は、120周年記念式典や水道橋校舎の有効活用計画と21世紀のビッグプロジェクトの準備が大変かと思えます。巻頭言の柳同窓会副会長の言葉通り、同窓会員の叡智と努力・協力があってこそ成しえる事ばかりで、広報部もこの会報を通じて会員に情報をお届けしたいと思えます。

★ 10月1日から歯科鑄造用金銀パラジウム合金(金パラ)価格が約15%引き上げられました。市場価格を後追いする形での改定となるため、長期における逆ザヤ分の取り戻しはかなりの時間がかかりそうです。

★ 卒後研修セミナーの取材レポートは「新素材歯冠修復の新たな潮流」「インプラント」とどちらも興味深いものです。歯科の材料や技術は年々新しくなりますが、上手に使いこなし臨床に取り入れるにはやはり基本的な術式をきちんと守らなければ良い結果は得られません。とかくマンネリ化する日常臨床に新たな材料・技術を積極的に導入し、日々気持ちを高めて行きたいと思えます。

(福井雅之 記)

広報部委員会

委員長
委員

小林 伯男
内山 健志
林 量一
東郷 幹夫
白田 準
小池 修
尾崎 圭子
福井 雅之

広報部担当理事

三友 和夫

平成20年10月20日 印刷

平成20年10月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第366号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 三 友 和 夫

編集人 小 林 伯 男

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)